

令和4年度地域支援事業について

- I 令和4年度地域支援事業、地域包括支援センターの運営状況
- II 令和4年度構成市町における地域支援事業の実施状況
- III 令和4年度構成市町主催による地域ケア推進会議の実施報告

佐賀中部広域連合
介護保険運営協議会

目 次

I 令和4年度地域支援事業、地域包括支援センターの運営状況・・・・・・・・・・ 1

《令和4年度地域包括支援センターの運営状況資料》

- ① 令和4年度 地域包括支援センターの設置状況・・・・・・・・・・ 5
- ② 地域包括支援センターにおける相談別件数・・・・・・・・・・ 6
- ③ 指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントにおける委託件数及び委託先事業所の状況・・・・・・・・・・ 7

II 令和4年度構成市町における地域支援事業の実施状況

令和4年度における介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業等）、包括的支援事業（社会保障充実分）任意事業の実施状況

- ・佐賀市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ・多久市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・小城市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- ・神埼市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ・吉野ヶ里町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

III 令和4年度構成市町主催による地域ケア推進会議の実施報告・・・・・・・・ 40

I 令和4年度 地域支援事業、地域包括支援センターの運営状況の集約

1 介護予防・日常生活支援総合事業 一般介護予防事業

① 介護予防普及啓発事業

介護予防の普及啓発に資する運動教室など各種介護予防教室や、介護予防に関する基本的な知識を啓発するための講演会、相談会等を構成市町において開催した。

事業	実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
相談会等	回数(回)	184	146	24	0	14	0
	延べ参加者(人)	2,250	2,028	65	0	157	0
介護予防教室等	回数(回)	2,986	567	292	600	1,144	383
	延べ参加者(人)	28,386	8,335	4,259	3,393	9,675	2,724

② 地域介護予防活動支援事業

構成市町における介護予防活動の地域展開を目指し、ボランティア等の人材の育成や住民主体の通いの場等の活動を支援した。

(1) サポート事業【広域連合が実施】

ア 登録者数 1,228名 イ 受入協力施設 77施設

(2) ボランティア人材等への研修、育成、支援等

ア 介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
回数(回)	187	0	12	0	175	0
延べ参加者(人)	530	0	105	0	425	0

イ 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
回数(回)	1,656	268	随時	987	110	148
延べ参加者(人)	69,338	3,031	38,665	20,868	1,065	5,709

ウ 社会活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
回数(回)	4,657	3,955	5	0	632	65
延べ参加者(人)	68,963	66,312	15	0	1,258	1,378

③ 地域リハビリテーション活動支援事業【広域連合が実施】

(1) 住民主体の通いの場等への専門職員の派遣

リハビリテーションに関する専門的見地を有する介護予防推進員を、住民主体の通いの場等に派遣し、運動方法の具体的な指導や介護予防講話等を実施した。

ア 自主グループ等への派遣 273団体

イ 介護予防講話の実施 27団体

(2) リハビリテーション専門職派遣事業(ケアマネジメント支援)

ケアマネジャーの自立支援に資するマネジメント支援を目的にリハビリ3団体の協

力のもと、リハビリテーション専門職の派遣を行う事業を実施した。

ア 理学療法士 4件 イ 作業療法士 1件 ウ 言語聴覚士 1件

2 包括的支援事業（社会保障充実分以外）【地域包括支援センター】

① 介護予防ケアマネジメント業務

要支援者等に対して、高齢者の自立支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、介護予防・日常生活支援総合事業等における適切なサービスが包括的かつ効率的に実施されるよう介護予防ケアマネジメント業務を行った。

(1) 令和5年3月の請求件数 直接 1, 191件

(2) " 委託 327件 合計 1, 518件

② 総合相談支援・権利擁護業務

地域包括支援センターにおいて地域における総合相談窓口として、高齢者に関する様々な相談を受け、適切なサービス機関や制度の利用に繋げる等の支援のほか、高齢者の権利擁護のための必要な支援を行った。

受けた相談件数は全 22,390 件であり、相談内容は以下のとおり。（重複有）

（単位：件）

相談内容	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
①介護保険、保健福祉サービス等に関する事	16,329	11,423	847	2,022	1,251	786
②認知症に関する事	2,480	1,272	430	339	142	297
③権利擁護（成年後見制度）に関する事	418	338	5	18	32	25
④高齢者虐待に関する事	315	246	15	33	17	4
⇒④のうち、虐待と判定された事例数	9	2	2	3	2	0
⑤介護者の離職防止に関する事	5	5	0	0	0	0
⑥その他	4,055	3,399	33	449	119	55

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の関係機関と連携・協力の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援などを実施した。

また、個別ケースの事例検討を通じた個別課題の解決、ネットワークの構築及び地域課題の発見を目的とする地域ケア会議（おたっしや本舗地域ケア会議）を開催し、要支援者等の自立支援等に向けた個別課題の解決や介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメント実践力の向上に向けた支援を行った。

(1) 地域ケア会議の開催状況 開催回数 198回

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
開催回数（回）	198	124	13	34	19	8
取扱事例数（件）	186	120	14	21	20	11

3 包括的支援事業（社会保障充実分）

① 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供することを目的として、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進した。

② 生活支援体制整備事業

(1) 生活支援コーディネーターの配置

生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し取組みを推進した。

ア 第1層生活支援コーディネーター 構成市町に1名ずつ

イ 第2層生活支援コーディネーター 地域包括支援センターに1名ずつ

※認知症地域支援推進員と兼務（市町と小城南包括を除く）

(2) 協議体の設置

生活支援等サービスの体制整備に向けて、生活支援コーディネーターと生活支援等サービスの多様な提供主体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場として、各構成市町において協議体を設置し、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制を整備した。

③ 認知症総合支援事業

(1) 認知症初期集中支援推進事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を構成市町において設置し、早期診断、早期対応に向けた支援体制づくりに努めた。

(2) 認知症地域支援・ケア向上事業

医療・介護等の連携強化等による地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う認知症地域支援推進員を各構成市町に1名配置し、取組を推進した。

(3) 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域の認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みであるオレンジコーディネーターを全ての構成市町に配備した。また、本連合から委託を受けた民間法人が運営する地域包括支援センターにおいても一カ所

にオレンジコーディネーターを配備した。

4 任意事業

① 家族介護支援事業

(1) 家族介護教室

家族を介護する者が、介護の知識・技術の習得、外部サービスの適切な利用方法を習得するための教室等を実施した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
開催回数（回）	22	3	5	12	0	2
参加人数（人）	170	86	26	19	0	39

(2) 介護者交流会の開催

介護が必要な高齢者とその介護者、地域の方々が気軽に集える場として交流会等を開催した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
開催回数（回）	12	0	9	0	0	3
参加人数（人）	38	0	24	0	0	14

(3) 介護用品支給事業

加齢に伴う心身の機能低下により、自らの排泄行動等に支障をきたす高齢者に対し、紙おむつ等を支給した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
利用人数（人）	41	7	8	13	11	2

② 成年後見制度利用支援事業

判断能力が不十分な認知症高齢者等で、親族などによる後見など開始の審判の申し立てを行うことができない方の市町村申立てにおいて、低所得の高齢者に対して市町村申立てに要する費用や後見人の報酬の助成等を行った。

区分	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
申立て件数（件）	20	17	1	0	2	0
後見人の報酬の助成件数（件）	44	40	1	3	0	0

③ 地域自立生活支援事業

栄養改善が必要な高齢者に対する配食の支援を活用し、高齢者の安否確認等その状況を定期的に把握する事業等を実施した。

実績	連合全体	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町
実利用者数（人）	310	29	69	71	77	64
延べ利用回数（回）	49,784	2,695	17,010	13,352	9,496	7,231

《令和4年度地域包括支援センターの運営状況資料》

①令和4年度 地域包括支援センターの設置状況

(令和5年3月末現在)

市町	地域包括支援センター	担当地区	担当地区の概要				令和4年度職員数					
			人口	高齢者数 (65歳以上)	高齢化率	要支援 認定者数	地域包括支援センター			介護 予防 支援 担当	合計	
							保健師	社会 福祉士	主任 介護 専門員			
佐賀市	1	佐賀	勸興・神野	17,968	4,876	27.1%	421	4	3	1	5	13
	2	城南	赤松・北川副	20,621	5,694	27.6%	521	1	1	1	3	6
	3	昭栄	日新・嘉瀬・新栄	20,900	6,673	31.9%	509	2	1	2	4	9
	4	城東	循誘・巨勢・兵庫	29,713	6,771	22.8%	494	1	2	1	2	6
	5	城西	西与賀・本庄	17,821	4,857	27.3%	419	1	1	1	2	5
	6	城北	高木瀬・若楠	22,136	6,446	29.1%	490	2	1	1	4	8
	7	金泉	金立・久保泉	8,062	2,964	36.8%	224	1	1	1	1	4
	8	鍋島	鍋島・開成	21,664	5,583	25.8%	337	1	2	1	1	5
	9	諸富・蓮池	諸富町・蓮池	11,589	4,050	34.9%	339	1	1	1	2	5
	10	大和	大和町	23,369	6,663	28.5%	424	2	1	1	2	6
	11	富士	富士町	3,285	1,505	45.8%	85	0	1	0	0	1
	12	三瀬	三瀬村	1,144	502	43.9%	29	0	1	0	0	1
	13	川副	川副町	15,195	5,482	36.1%	409	0	1	1	1	3
	14	東与賀	東与賀町	7,735	2,214	28.6%	141	1	1	0	1	3
	15	久保田	久保田町	7,478	2,256	30.2%	140	1	1	0	1	3
合 計			228,680	66,536	29.1%	4,982	18	19	12	29	78	
多久市	16	多久市	多久市	18,115	6,787	37.5%	432	1	1	3	3	8
小城市	17	小城	三日月町	14,309	3,285	23.0%	191	2	1	1	2	6
	18	小城北	小城町	15,139	5,031	33.2%	313	1	1	1	3	6
	19	小城南	牛津町・芦刈町	14,808	4,809	32.5%	314	1	1	1	2	5
	合 計			44,256	13,125	29.7%	818	4	3	3	7	17
神崎市	20	神埼	神埼町	18,609	5,743	30.9%	364	5	1	1	4	11
	21	神埼北	脊振町	1,334	600	45.0%	37	1	0	0	0	1
	22	神埼南	千代田町	10,596	3,574	33.7%	209	1	1	1	2	5
	合 計			30,539	9,917	32.5%	610	7	2	2	6	17
吉野ヶ里町	23	吉野ヶ里	吉野ヶ里町	16,178	4,143	25.6%	207	1	1	1	2	5
全包括 合計			337,768	100,508	29.8%	7,049	31	26	21	47	125	

② 地域包括支援センターにおける相談別件数

市町	センター	介護保険その他の保健福祉サービスに関する事	認知症に関する事	権利擁護(成年後見制度等)に関する事	高齢者虐待に関する事	うち、虐待と判定された事例数	介護者の離職防止に関する事	その他	計(相談別件数)
佐賀市	1 佐賀	1,212	210	157	53	0	2	691	2,325
	2 城南	710	68	4	19	0	0	393	1,194
	3 昭栄	1,160	32	12	7	0	0	230	1,441
	4 城東	632	133	27	21	1	0	195	1,008
	5 城西	907	43	19	15	0	0	153	1,137
	6 城北	1,358	138	38	36	1	2	219	1,791
	7 金泉	502	55	11	3	0	0	128	699
	8 鍋島	1,266	122	7	27	0	0	447	1,869
	9 諸富・蓮池	521	149	7	4	0	0	207	888
	10 大和	976	62	14	36	0	0	235	1,323
	11 富士	384	34	19	4	0	0	100	541
	12 三瀬	219	106	1	0	0	0	110	436
	13 川副	516	69	12	1	0	0	94	692
	14 東与賀	298	14	1	17	0	0	94	424
	15 久保田	762	37	9	3	0	1	103	915
佐賀市 計		11,423	1,272	338	246	2	5	3,399	16,683
多久市	16 多久	847	430	5	15	2	0	33	1,330
	多久市 計		847	430	5	15	2	0	33
小城市	17 小城	654	231	8	0	0	0	162	1,055
	18 小城北	914	55	6	30	1	0	276	1,281
	19 小城南	454	53	4	3	2	0	11	525
小城市 計		2,022	339	18	33	3	0	449	2,861
神崎市	20 神埼	566	64	13	13	1	0	49	705
	21 神埼北	25	5	0	0	0	0	12	42
	22 神埼南	660	73	19	4	1	0	58	814
神崎市 計		1,251	142	32	17	2	0	119	1,561
吉野ヶ里町	23 吉野ヶ里	786	297	25	4	0	0	55	1,167
	吉野ヶ里町 計		786	297	25	4	0	0	55
合計		16,329	2,480	418	315	9	5	4,055	23,602

令和4年度介護予防支援および介護予防ケアマネジメント委託先一覧表(3月分)

委託先の所在地	索引																				合計					
		佐賀	城南	昭栄	城東	城西	城北	金泉	鍋島	諸富・蓮池	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	多久	小城	小城北	小城南		神埼	神埼北	神埼南	吉野ヶ里	
	合計	61	54	57	81	112	54	43	119	19	84	36	7	130	0	15	136	7	22	3	68	3	2	58	1170	
佐賀市																										
あ	居宅介護支援事業所 青空	4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	アイケア佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	居宅介護支援事業所ありんこ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ケアマネジメントサービス杏の樹	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	医療法人杏仁会 ケアセンターANZU	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合同会社イロドリ紡ぐ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
う	介護支援サービスセンター うえむら	3	1	0	12	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	20	
	ウェルネス開成	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	うなぎのねどこ居宅介護支援事業所	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
え	介護支援サービスセンター エバーグリーン	0	0	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
お	居宅介護支援事業所おそえがわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
か	かほるケアサービス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	居宅介護支援事業所 かがやき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	居宅介護支援センター かすみ草	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
き	居宅介護支援 紀水苑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	居宅介護支援センターきはら	0	5	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
	ケアセンターきはら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	きらめき新郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	きりん 居宅介護支援事業所	1	1	0	3	0	1	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	16	
く	居宅介護支援事業所クローバー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
け	居宅介護支援事業所ケアビレッジ夢咲	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	
	ケアパートナー佐賀居宅介護支援事業所	2	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	ケアマネジメントサービス 桂寿苑	2	0	2	7	0	6	16	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	39	
	居宅介護支援センターけやき荘	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	
	ケアマネジメント ケアポート晴寿	4	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	神野診療所 ケアマネジメントサービス	5	1	1	3	1	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	
	こ	ケアプランセンターこもれび	2	0	0	2	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	11
さ	ケアプランセンターさとう	0	0	0	3	8	0	0	0	0	0	0	0	15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	27	
	佐賀市社会福祉協議会居宅介護支援事業所南部事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地域医療推進機構佐賀中部病院付属居宅介護支援事業所	0	1	1	4	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
	佐賀整肢学園・オークス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	佐賀整肢学園居宅介護支援事業所	4	0	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	居宅介護支援事業所さくら	1	3	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	サンビューさが指定居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Seedケアマネジメント	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	シオンの園ケアマネジメントサービス	2	0	0	0	0	3	0	3	0	15	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	28	
シオンの園ケアマネジメントサービスさが	2	2	1	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
居宅介護支援事業所シニアライフ佐賀	1	0	3	0	0	3	2	7	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	22		
居宅介護支援事業所春庵	1	0	1	2	0	0	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
しょうぶ苑居宅介護支援センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
徐福の里居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
居宅介護支援事業所 シルバーケア佐賀	2	0	1	0	0	4	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	15		
シルバーケア三瀬居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
居宅介護支援事業所 SINみらい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
す	指定居宅介護支援事業所 すこやか	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	居宅介護支援事業所マイル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
せ	ケアマネジメントサービス セイジュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	扇寿荘 居宅介護支援	0	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10	
	セントケア佐賀	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	
そ	居宅介護支援事業所空	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
た	たすけあい佐賀ケアプランサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	居宅介護支援事業所たいづ	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	
ち	居宅介護支援事業所ちとせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
つ	つなぐ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	つぼみ荘	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
て	ケアプランセンターディーフェスタ東与賀	1	1	0	0	6	1	0	4	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	
	天心堂 介護サービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
と	トンポの里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
な	居宅介護支援ながせ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	なごみ荘ケアマネジメントサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	
	居宅介護支援センターなんてん	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	なゆたの森ケアマネジメントサービス	0	0	0	2	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
	南島荘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	6	

令和4年度介護予防支援および介護予防ケアマネジメント委託先一覧表(3月分)

委託先の所在地	索引																				合計					
		佐賀	城南	昭栄	城東	城西	城北	金泉	鍋島	諸富・蓮池	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	多久	小城	小城北	小城南		神埼	神埼北	神埼南	吉野ヶ里	
	合計	61	54	57	81	112	54	43	119	19	84	36	7	130	0	15	136	7	22	3	68	3	2	58	1170	
多	に	ニチイケアセンターさが	3	0	4	0	2	0	1	8	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
		ニチイケアセンターさがみなみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター久保田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ね	Next CareHappiness	0	0	0	2	0	0	3	0	1	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	は	橋野医院居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		居宅介護支援事業所花みずき	0	0	0	9	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
		ケアマネジメント花みずき	4	1	2	8	3	0	0	6	2	1	0	0	21	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	51
		華みずきケアプランサービス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		personai happiness	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	ひ	百武整形外科居宅介護支援事業所	3	5	2	1	4	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
	ふ	ケアマネジメントふじ	0	0	0	0	0	2	0	5	0	10	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
		ケアプランふくふく	0	0	0	1	0	2	0	9	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	17
		福壽園ケアマネジメントセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
		ふくろ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ふあみりい里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ほ	ほうむ居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		ケアプランほっこり	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	ま	介護支援センターまんでん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		まごころ居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		居宅介護支援センターまる	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	み	ケアプランみずがえ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		居宅介護支援事業所 南佐賀	3	10	3	3	2	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
	め	メイブルハウス居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	も	居宅もろくま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ら	ライフエイド ケアマネジメントサービス	1	0	0	0	0	2	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	り	居宅介護支援事業所リンクス	1	2	1	0	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
居宅介護支援事業所リーガルケア		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
社会福祉法人 凌友会		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
れ	レインボー川副居宅介護支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	
ろ	ロザリオの園在宅支援サービス事業所	0	0	1	0	0	0	4	2	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	
や	ケアプランセンターやえみぞ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	矢ヶ部医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
わ	わかば	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
多		けいこう園居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	7
こ	剛友会居宅介護支援サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0	10	
	医療法人社団 高仁会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
た	居宅介護支援センター多久いこいの里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	22	
	多久市社会福祉協議会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	33	
て	天寿荘居宅介護支援サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	48	
に	介護相談所 虹のわ多久	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ほ	ホーム西浜ケアマネジメントサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
ら	ケアプランサービスライフ	0	0	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	6	1	0	0	0	0	0	88	
小		あしはらの園介護保健相談室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
き	共生の里居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	清水園居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	
け	蛍水荘居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	
ひ	ひらまつ病院居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ほ	鳳寿苑居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
も	居宅介護支援事業所もみじ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	孟子会居宅介護支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
わ	わかば	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

令和4年度介護予防支援および介護予防ケアマネジメント委託先一覧表(3月分)

委託先の所在地	索引																					合計			
		佐賀	城南	昭栄	城東	城西	城北	金泉	鍋島	諸富・蓮池	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	多久	小城	小城北	小城南	神埼		神埼北	神埼南	吉野ヶ里
合計		61	54	57	81	112	54	43	119	19	84	36	7	130	0	15	136	7	22	3	68	3	2	58	1170
神崎市																									
あ	居宅介護支援事業所ありんこ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
う	うぶすな居宅介護サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	3	26
か	居宅介護支援事業所かんざき清流苑	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	0	7	27	
	神埼病院指定居宅介護支援事業所 昌普久苑居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
す	居宅介護支援事業所翠晃	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
な	居宅介護支援事業所なごみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	2	0	1	14
ほ	ケア・プラン本舗弥生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町																									
さ	さざんか園居宅介護支援事業所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	9
し	シルバーケア吉野ヶ里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	5	
に	ニチイケアセンター吉野ヶ里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひ	ひらまつふれあいクリニック居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	24	26	
め	めたばる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	9	16	
ゆ	ゆうあい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
唐津市																									
お	お世話宅配便	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
か	からっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
武雄市																									
て	ディーフェスタ武雄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白石町																									
さ	桜の園ケアプランサービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	そいよかね白石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
は	Personal Happiness	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江北町																									
こ	古賀小児科内科病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊万里市																									
あ	居宅介護支援事業所おおぞら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
わ	ケアマネジメント わきた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
嬉野市																									
さ	済昭園 指定居宅介護支援事業所 社会福祉法人 済昭園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三養基郡																									
い	いなほの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お	居宅介護支援事業所 おおしま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ	そよ風居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
し	寿楽園 居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の	野菊の里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
は	花のみねケアプランサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひ	居宅支援事業所ひまわり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
み	社会福祉法人未来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡市																									
く	グッドタイム介護支援サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
け	ケアプランセンター美・ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ケアプランセンター宝満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふ	福岡みらい病院ケアプランセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北九州市																									
つ	ツクイ若松高須	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久留米市																									
か	かぶとやまケアプランサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
み	明星苑居宅介護支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小郡市																									
し	シマダケアプランセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大和市																									
み	南大和クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊丹市																									
お	オアシス千歳居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑紫野市																									
す	杉病院指定委託介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和4年度 主要事業の実施状況の概要 【 佐賀市 】

1 新規事業について

なし

2 継続事業（主な事業）について

・介護予防推進事業として

- ① 高齢者に健康や介護予防に関する正しい知識を身につけてもらえるよう、各種運動教室や保健師等による健康講話等の介護予防教室を実施した。（センター版元気アップ教室、地域版元気アップ教室、街なか元気アップ教室、音楽サロン教室など）
- ② 介護予防支援者養成講座の開催や通いの場支援事業の実施により、地域において自主グループの活動が円滑に継続できるよう支援を行った。

・データ活用による介護予防推進事業として

高齢者の医療・介護・健診データ等を活用し、生活習慣病やフレイル等の重症化、重度化のリスクの高い高齢者を抽出し、状態に応じて保健師等専門職が個別訪問等を行い、運動・栄養などの保健指導や通いの場への参加支援等を行った。

- ① 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）
- ② 通いの場等への関与（ポピュレーションアプローチ）

・認知症施策推進事業として

- ① ものわすれに関する相談に応じ認知症の早期発見・進行予防を図るため、「ものわすれ相談室」を実施し適切なケアに結びつけた。
- ② 認知症についての正しい知識の普及を図るため、企業、学校、各種団体等において「認知症サポーター養成講座」を開催した。また、知識や対応方法をより深く普及するため、認知症サポーター養成講座修了者に対し「認知症サポーター・ステップアップ講座」を開催した。
- ③ 専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」を配置し、認知症の人や認知症が疑われる人及びその家族に対し、初期の支援を包括的・集中的に実施した。
- ④ 認知症等で行方不明になる可能性がある方の情報を市に事前登録し QR コード付シールを配布することで、認知症等の方が行方不明になった場合に発見・保護が円滑に行われるよう支援した。

3 課題について

・高齢者に関する相談内容が複合化・多様化しており、さらに高齢化率も上がる中で、地域包括支援センターに求められる役割は大きくなっている。今後、専門職を含め、人材不足となる状況が懸念される。

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 佐賀市

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和4年度)

(1)介護予防・生活支援サービス事業

(ア)訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
訪問型サービスB	要支援者・事業対象者	掃除、洗濯、調理、薬の受け取りなど日常生活の困りごとに対する生活支援サービスを提供する団体に対し、助成を行う。	43人	1,749回
訪問型サービスD	要支援者・事業対象者	通所型サービスや一般介護予防事業における送迎を実施する団体に対し、助成を行う。	77人 66人 78人 16人	5,160回 2,131回 1,501回 169回

(イ)通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
通所型サービスC	要支援者・事業対象者	運動、栄養、口腔等の「心身機能」、「活動」や「参加」といった生活機能が低下し始めている高齢者に対し、専門職による短期間の集中的なプログラムにより、状態を改善・向上するようにする。	1人 1人	7回 15回
通所型サービスB	要支援者・事業対象者	運動やレクリエーションなどの介護予防に資する活動で、週に1回以上の通所をする団体に対し、助成を行う。	10人 48人 53人	18回 183回 90回
プログラムに参加する医師の判断	要支援者・事業対象者	医学的観点からみた運動器関連プログラム参加の適否の判断	1人	

(2)一般介護予防事業(令和4年度)

(ア)介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
高齢者実態調査事業	65歳以上	民生委員へ調査を委託し、全ての65歳以上を対象にフレイルチェックを実施することにより、高齢者一人ひとりの健康課題を把握し、民生委員による見守り活動や、介護予防事業へとつなげる。 令和4年度は調査未実施年度であったため、令和5年度調査に向け検討部会で検証等を行った。			
データ活用による介護予防推進事業	75歳以上	医療・介護レセプトや健診及びフレイルデータを活用することにより、フレイル状態にある高齢者を早期に把握し、介護予防事業等へとつなげる仕組みを構築した。	75歳以上の高齢者数 4月時点	34,387人	34,387人

(2)一般介護予防事業(令和4年度)

(イ)介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布

事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)
生活情報誌記事など掲載事業	佐賀市民	市が実施している介護予防事業の普及啓発を生活情報誌、ラッピングバス、パンフレットなどの様々な媒体を用いて周知する。	ぶらざ10月号、4月号 2回		
データ活用による介護予防推進事業	75歳以上	医療・介護レセプトや健診及びフレイルデータを活用して把握したフレイル状態等にある高齢者に対して、健診受診、受療御帯令和3年度調査結果でフレイルリスクの高い高齢者へ介護予防教室等の勧奨通知を行った。	・介護予防事業案内 ・シニアのための元氣度測定会案内 ・治療中断者への勧奨	1回 1回 2回	1,030人 3,503人 14人

② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
高齢者健康教育事業	65歳以上の高齢者	・サロン・老人会・自治会等、一般市民を対象に介護予防の健康講話や実技指導を行う。	・開催回数(講演) 143回		2,025人
ものわすれ相談室	佐賀市に住所を有する者及び家族等で認知症に関する相談を希望する者	・認知症や物忘れに関する一次的な相談窓口として、相談室を月2回開設し、医師や介護の専門職が相談にあたり、早期発見・早期治療・進行予防を図るとともに、適切なケアに結びつける。	・開催回数(講演) ・開催回数(相談) 3回	3人	3人

③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催

(1)運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
センター版元氣アップ教室	65歳以上の高齢者(要介護認定者を除く)	運動器機能向上に加え、栄養・口腔の対象者への個別・全体指導を実施 事業所に委託して実施→指名競争入札による	・開催回数 センター版元氣アップ教室 367回	264人	3,246人
地域版元氣アップ教室	65歳以上の高齢者	運動機能向上に加え、栄養・口腔の対象者への個別・全体指導を地域の団体等で実施する。また、4か月の教室終了後は自主活動として運動を継続してもらうことを前提としている。	・開催回数 地域版元氣アップ教室 地域版「ダンベル体験会」 144回 6回	135人 75人	1,640人 75人
街なか元氣アップ教室	65歳以上の高齢者(要介護認定者を除く)	運動機能向上のための運動指導と買い物活動を通じた生活機能訓練を複合的に組み合わせた送迎つきの教室を実施する。	・開催回数 街なか元氣アップ教室 14回	14人	148人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 佐賀市

(4) その他のプログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
音楽サロン	65歳以上の高齢者	参加者の時代背景に沿った歌唱を通じて、回想法を取り入れながら昔の記憶を刺激することで脳の活性化を図り、打楽器の合唱やミュージックフープを用いた体操を行うことにより、社会性の広がりを得る。	・開催回数 音楽サロン教室(2会場) 体験会	10回 2回	46人 34人	163人 34人
脳いきいき健康塾	65歳以上の高齢者(要介護認定者を除く)	簡単な計算や音読を習慣化することと交流を図ることにより、加齢に伴う脳機能の衰えを防ぎ、日常行動の回復を目指す。	・開催回数 自主グループ支援	12団体	87人	2,791人
認知機能向上プログラム評価事業	信愛整形外科医院が受託するセンター版元気アップ教室及び地域版元気アップ教室	センター版・地域版元気アップ教室の一部でファイブク(集団認知機能検査)を教室の前後に実施し分析・評価する。	・開催箇所数 センター版元気アップ教室 地域版元気アップ教室	5箇所 7箇所	56人 98人	91人 147人
(2) 一般介護予防事業(令和4年度)						
(ウ) 地域介護予防活動支援事業						
② 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
介護予防支援者養成事業	にこにこ運動教室・(地域版)元気アップ教室自主グループのお世話人	にこにこ運動教室、(地域版)元気アップ教室の支援者の養成・育成および支援者同士の交流機会を提供し、支援者が活動を継続できるよう技術的・精神的フォローを行う。	・開催回数 介護予防支援者養成事業	6回	107人	107人
介護予防に資する通いの場支援事業	にこにこ運動教室、(地域版)元気アップ教室、転ばん教室終了後、自主化したグループ	にこにこ運動教室、(地域版)元気アップ教室、転ばん教室終了後、自主化したグループをフォローするため、指導を行う。	・開催回数 介護予防に資する通いの場への支援	262回	2,924人	2,924人
③ 社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
趣味の作品展	60歳以上の高齢者	高齢者の趣味による作品を募集し、展示することによって、高齢者の創作意欲の向上と文化活動への参加を促し、高齢者の生きがいづくりと認知症予防など健康の増進を図る。	・開催件数 出展数198点	1回		398人
高齢者スポーツ大会	60歳以上の高齢者	スポーツ大会を通じて、高齢者の健康増進及び社会活動への参加意欲の向上を図る。	・開催件数 会場数29会場	1回		4,362人
老人センター各種講座事業	申し込みをされた市内在住の60歳以上の方	一般教養、郷土史、健康づくり、園芸等の講座	・開催回数 会場数4会場	125回	208人	4,543人
高齢者ふれあいサロン事業	おおむね65歳以上の一人暮らしや虚弱な高齢者等(対象者)と地域のボランティア等の協力者で構成され、活動しているサロン	地域のボランティア団体等が、家に閉じこもりがちなひとり暮らしや、虚弱な高齢者等に対し、地域の公民館や集会所等において各種サービスを提供する	・開催回数 サロン数 延べ回数	221団体 3,828回		57,009人
(2) 一般介護予防事業(令和4年度)						
(オ) 地域リハビリテーション活動支援事業						
① 地域リハビリテーション活動支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
データ活用による介護予防推進事業	75歳以上	退院時指導等や地域ケア会議での助言を基に再入院や要介護度の重度化を防止し、在宅での自立した生活を継続できるようにするため、訪問による栄養面からの状況把握及び指導を行った。	・訪問回数	5回	2人	2人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 佐賀市

(2)任意事業(令和4年度)

② 家族介護支援事業

ア 介護教室の開催					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実) 参加者数(延)
家族介護教室	高齢者を介護している家族や援助者	認知症高齢者を介護している家族に対し、認知症の人に対する具体的な接し方等を学ぶ機会として、家族介護教室を開催することにより、家族介護の支援を図る。	・開催回数	3回	86人 86人
イ 認知症高齢者見守り事業					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		登録者数(実) 登録者数(延)
佐賀市あんしん見守り事前登録事業	認知症等が原因で、行方不明になる恐れがある高齢者等	認知症等により行方不明になる恐れのある人の情報を登録し、警察などの関係機関と事前に情報共有・連携を図ることで行方不明等の緊急の際に迅速かつ適切な対応を図る。なお、事業費については、事業PRのため佐賀市営バス側面へのラッピング費用に要したものの。			91人 137人
ウ 家族介護継続支援事業					
※介護用品の支給に係る事業					
事業名	対象者	実施内容			実人数 延べ人数
家族介護用品支給事業	おおむね65歳以上で要介護4または5の認定を持つ方を介護する家族の方。ただし、市県民税非課税世帯に限る。 ※入院・施設入所・生活保護受給中の方は利用できません。	紙おむつ、尿取りパット等を1月6,360円を上限として支給する。(3ヶ月に1回、業者から配送)	/		7人 39人

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		
佐賀市成年後見制度における市長による審判請求手続等に関する事務	本人、親族の申立てが困難なもの	老人福祉法第32条に基づく成年後見制度の市長申立てを行う。	・申立件数	17件	/
佐賀市成年後見制度における成年後見人等の報酬助成事業	生活保護受給若しくは助成を受けなければ生活保護受給の対象となるもの	成年後見制度を利用する被後見人等が後見人等に対し報酬を負担できない場合にその全部又は一部を助成する。	・助成件数	40件	
エ 認知症サポーター等養成講座					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		延べ人数
認知症サポーター養成講座	市民・企業・学校・市職員	地域の生活関連企業・各種団体への出前講座 また、認知症に対する深い理解やより実践的な知識について学ぶため、ロールプレイや施設実習、グループワークなどを取り入れたステップアップ講座を開催。	・サポーター講座開催回数	62回	1,933人
			・ステップアップ講座開催回数	17回	183人
カ 地域自立生活支援事業					
③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実) 利用者数(延)
安否確認事業	おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又はこれに準ずる世帯に属する高齢者等であつて、安否確認が必要な者	安否確認が必要な高齢者等に対して、定期的に居宅に訪問し、当該利用者の安否を確認し、異常があった場合は関係機関等への連絡等を行う。	・安否確認回数	2,695件	29人 256人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 佐賀市

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1) 在宅医療・介護連携推進事業(令和4年度)

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

実施内容

- ・市内の介護保険施設や高齢者福祉施設、医療機関などの情報を市のホームページに掲載し、高齢者及びその家族が施設情報を得ることができるようにする。データは随時更新。
- ・高齢者福祉サービスの冊子を医療機関、歯科、薬局に配布。
- ・佐賀市在宅医療介護連携支援センターホームページ「佐賀市訪問診療・往診実施医療機関一覧」「佐賀市内の有床診療所・病院一覧」の掲載。
- ・佐賀市在宅医療介護連携支援センターホームページに佐賀市医療・介護お役立ち情報掲載

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

実施内容

会議開催件数

- ・「佐賀市在宅医療・介護連携推進連絡会議」は書面報告(3月17日)にて実施、関係団体における在宅医療・介護に関する課題、取組内容等を共有した。
- ・佐賀市医療・介護ワーキングチームミーティングを開催2回/年、ネットワークエリア検討会1回/年、グループ窓口施設連絡会議2回/年、各関係団体の情報交換や近状報告を行った。
- ・市内の医療機関や、歯科医師会、薬剤師会、佐賀中部広域介護支援専門員協議会、包括支援センターなど訪問し、佐賀市の在宅医療・介護連携推進事業について説明と課題抽出を行った。

5

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

実施内容

- ・入退院や介護への切れ目のない連携を目指し、保険証とケアマネジャー名刺入れホルダー配布。
- ・佐賀市医師会「支援センターだより」に記事掲載し医療機関への情報提供を行う。
- ・「佐賀市医療・介護連携グループ」登録施設一覧の管理。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

実施内容

- ・カナミック情報共有システム利用登録を推進し、関係者間の情報共有を図った。(利用者ID数275件)
- ・北部ネットワーク窓口施設での携帯アプリ(Dr,JOY)の導入・運用。登録施設にアンケートを実施。

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

実施内容

相談窓口数

相談員数

- ・在宅医療・介護連携支援センターで相談支援を行った。:89件

1

1

(カ) 医療・介護関係者の研修

実施内容

多職種研修

その他研修数

- ・佐賀市在宅医療介護連携支援センターにて地域包括支援センターや訪問看護、居宅介護支援事業所を対象に「在宅医療・介護の豆知識」研修会を2回/年実施。
- ・西部ネットワーク:佐賀市医療・介護連携西部ネットワーク研修会をハイブリッド形式で2回/年実施(多職種)
- ・南部ネットワーク:かわそえネットワークとの協賛で佐賀市医療・介護連携南部ネットワーク研修会をハイブリッド形式で4回/年実施(多職種)

8回

0回

(キ) 地域住民への普及啓発

実施内容

- ・佐賀市在宅医療介護連携支援センターホームページ「佐賀市訪問診療・往診実施医療機関一覧」「佐賀市内の有床診療所・病院一覧」の作成掲載。
- ・佐賀市在宅医療介護連携支援センターホームページにて「在宅医療・介護の豆知識」の動画配信。

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 佐賀市

(2)生活支援体制整備事業(令和4年度)

(ア)生活支援コーディネーターの配置

実施内容

- ・第1層、第2層コーディネーターを配置
- ・SC連絡会を実施

(イ)協議体の設置

実施内容

- ・第1層協議会を2回実施

(ウ)その他(生活・介護サポーター養成事業)

実施内容

一般市民を対象に、生活・介護支援サポーター養成講座を実施し、ボランティアを養成する。

(3)認知症総合支援事業(令和4年度)

①認知症初期集中支援推進事業

実施内容

認知症初期集中支援チーム配置

・認知症初期集中支援員1名(社会福祉士)を配置し、専門知識を有するチーム(専門医・作業療法士・管理栄養士)により初期支援を集中的に行う。

②認知症地域支援・ケア向上事業

実施内容

・認知症地域支援推進員配置

認知症の方、家族への相談支援の実施(訪問、来所相談、医療・介護・地域との連携など)

地域での認知症の理解、知識の普及、認知症予防に関する講話(サポーター養成講座、サロン等での講話など)

サポーターの登録

・認知症本人発信支援

広報誌(モテモテさが9月号)に、認知症本人と家族のインタビュー記事を掲載

③認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

実施内容

令和3年4月よりオレンジコーディネーターを配置。(認知症地域支援推進員兼務)

値域で行ったステップアップ講座後、交流会を実施。チームオレンジの理解、活動について話し合い検討を行った。

(4)地域ケア会議推進事業(令和4年度)

実施内容

地域ケア推進
会議
の開催数

地域ケア推進会議の開催

- ・地域課題の整理
- ・委員からの助言

1回

令和4年度 主要事業の実施状況の概要 【 多久市 】

1 新規事業について

① 自立支援・重度化防止の資する施策として

地域ケア会議等の事例から地域課題である「口腔ケア」を取り上げ、歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・ケアマネ等に参加してもらい口腔ケアプロジェクトを組織した。実態の把握の結果、活動の方向性を3つに絞り取り組んでいる。

② 介護予防事業施策として

介護予防事業「いきいき百歳体操」の参加者への効果検証のために、年1回の体力測定を実施しているが、このような事業の評価のために、認知面での評価等を合わせて実施するための方策を検討し、MC I（軽度認知障害）の早期発見等に活かした。

③ 生活支援体制整備事業協議体事業として

令和3年度の活動から、令和4年7月に多久市社会福祉協議会に「暮らしサポートセンター」を設置し、総合事業生活支援B、移動支援Dサービスを開始した。一人暮らしや高齢者世帯を対象とし、住民ボランティアによる有償サービスである。月ごとに利用者が増加し、ニーズも高く、事業のスムーズな実施に向けてケアマネジャーへの説明会を実施した。

2 継続事業（主な事業）について

・認知症総合支援事業施策としては

① 認知症ケアパスを認知症本人の気持ちや家族の対応を中心に修正した。このケアパスを使って、地域に「認知症チームオレンジ」の設置を継続している。

② 認知症カフェや認知症のサロン活動の方法も見直し利用者増を図るよう活動を行った。

個人台帳、KDB（国保連データベース）からの対象者の抽出を継続しお誘いを行った。

・在宅医療介護連携推進事業施策としては

① 部会活動を中心に活動を行い展開した。「SW（ソーシャル・ワーカー）・施設・病院部会」は自分たちが支援できる災害時の取り組みについてまとめ冊子を作成した。「通所部会」は事業所の活動を一元化し情報共有を図る取り組みを進め冊子を作製した。「ヘルパー部会」は事例研究を行い、質の向上を目指した。「訪問看護部会」は多職種研修のテーマで講師を担い、「成人」「小児」「精神」など市内事業所の特性を生かした活動内容を紹介してもらった。「ケアマネ部会」はアセスメント力向上のため、リモートとなったがケアマネジメント研修を継続した。

3 課題について

コロナ感染症等の爪痕のように閉じこもりの事例や認知症の相談件数が増えている。なじみの関係の地域社会での通いの場活動や見守り活動をしっかり実践できる体制の再構築が必要である。

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 多久市

1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和4年度)

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(ア) 訪問型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
パワーリハプラス教室(C)	事業対象者 要支援1・2認定者	理学療法士等が自宅を訪問し、住環境等の調整を含めた生活機能評価を行い、介護予防ケアマネジメントに反映する。アセスメントと評価訪問の2回となる。前期・後期の年2回教室方式で実施。	12人	22回
住民主体による支援(B)	事業対象者 要支援1・2認定者	介護保険要支援者を含む高齢者を対象として、住民ボランティア等による住民主体による生活支援	要支援者 延べ	実人数 4名 15件
住民主体による支援(D)	事業対象者 要支援1・2認定者	介護保険要支援者を含む高齢者を対象として、住民ボランティア等による買い物等の付き添い外出移動支援など	要支援者 延べ	実人数 20名 102件 事業対象者 延べ 実人数 34件 100件

(イ) 通所型サービス事業

事業名	対象者	実施内容	利用人数	利用回数
パワーリハプラス教室(C)	事業対象者 要支援1・2認定者	運動、栄養、口腔等の心身機能の維持・向上を目指して、週1~2回 最大26回、1回120分の通所個別プログラムの実施。 個別評価による運動トレーニングの実施と自宅での運動継続のための支援の実施。 前期・後期の年2教室で56回開催。	283人 実人数	56回 12人

(2) 一般介護予防事業(令和4年度)

(ア) 介護予防把握事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
重症化予防事業	介護保険未利用者 健診結果重症化予防対象者	窓口相談、通いの場、介護保険未利用者等で把握している方に訪問を行い、実態を把握し、保健指導を実施する。必要な場合、医療受診や介護予防教室・介護保険等へつなげる。	・訪問による把握 55回 ・電話相談による把握 3人	85人	162人

(イ) 介護予防普及啓発事業

① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布					
事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)
生活情報誌・市報への記事掲載(介護予防・介護保険関係)	市民全般	地域包括支援センターだより	市報 12回		
介護予防チラシ作成	65歳以上高齢者	介護予防ちらしりの作成	チラシ作成 1000部		
② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
CATVを使った介護予防(運動)の実践啓発	市民全般	CATV・YouTubeを活用した運動等の動画放映および口腔体操の動画作成	・開催回数(DVD放映) 3回 ケーブルテレビにて実施 28回		
介護予防・重症化予防相談	75歳以上の高齢者	生活習慣病の重症化予防・フレイル予防のための栄養相談および訪問指導	・相談回数(相談) 2人		
③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔に係る介護予防教室等の開催					
(1) 運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護予防教室(げんきアップさー来る(2回/週))	高齢者	・インストラクターの指導のもと、ストレッチやタオルやボールなどをつかった運動の実施、年1回の体力評価の実施。	・開催回数 89回	61人	1,950人
転倒予防・筋力低下予防教室(お達者クラブ)	65歳以上、チェックリスト該当者	健康運動指導士等の指導による椅子に座ってできる転倒予防・筋力アップ運動教室、週1回、1回90分	・開催回数 51回 評価測定 11回	43人 43人	1,496人 81人
(3) 口腔機能の向上プログラム					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
かみかみ百歳体操教室	地域の介護予防教室参加者(65歳以上)	・地域におけるDVDを使った口腔体操の実施。 ・歯科衛生士による口腔機能向上のための健康教育や口腔チェックを合わせて実施	・開催回数 9回 評価計測 7回	85人	204人
歌おうドレミ教室	65歳以上高齢者	・介護予防音楽療法指導士等による音楽をベースにした合唱・合奏・口腔体操等の教室 ・教室前後で口腔機能テストを行う。 ・教室内で保健師等による個別面接の実施。 ・11回コース、2教室実施	・開催回数 22回 1教室 11回	16人	163人
(4) その他のプログラム					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
わか脳教室	65歳以上高齢者	・ゲーム機を使って脳トレーニングや体を使っての脳体操をする。また、計算問題や漢字問題等の宿題を持ち帰り、自宅でも脳トレーニングを行っていく。	・開催回数 99回	7人	221人
高齢者パソコン教室	65歳以上高齢者	・認知症予防や閉じこもり予防、生きがい活動など介護予防に資する活動として実施。年4回で1コース(5回)	・開催回数 4回 1教室5日間 4教室	30人	144人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 多久市

①介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
介護サポーター活動支援	65歳以上の高齢者	地域の通いの場等で地区の代表者への通いの場立ち上げ・継続支援を行うサポーターの活動支援 3期35名養成、その後サポーター連絡会として月1回の会議	・養成講座開催回数 12回	35人	105人
②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
地域住民グループ支援	65歳以上の独居高齢者や高齢者世帯	日常生活の声かけ、安否確認を通して地域ボランティアネットワークの構築と人材育成を図り、地域に福祉力を向上させる。	・開催回数 該当者数 連絡員 528回 372人	随時活動	20,686人
ふれあいいきいきサロン事業	65歳以上の市民全般	・代表者会議で、5年継続実施されている地区の参加者の実態を確認した。46名中3名が離脱。高血圧の治療28名、全員が継続できていた。80%の方が健診を受けていた。介護保険を利用しながら参加している方も5名おられた。通いの場に参加するためには生活リズム、治療の継続などが必要であると話すことができた。 ・代表者会議は年2回、町別に開催した。代表者の悩み事など共有する機会となった。 活動による作品を発表・展示することで社会参加を促進し、生きがいづくりや介護予防につながる生涯学習への意識を高揚することを目的として実施。	・代表者会議開催回数 11回 サロン(上期) 47地区 サロン(下期) 49地区	49人	165人
高齢者趣味の作品展	65歳以上の市民全般	活動による作品を発表・展示することで社会参加を促進し、生きがいづくりや介護予防につながる生涯学習への意識を高揚することを目的として実施。	・開催回数 応募作品 1回	32点	
高齢者スポーツ大会	65歳以上の市民全般	スポーツを通じて、継続的な運動と健康維持につなげ、介護予防の意識づけの機会とする。 (ゲートボール大会・グランドゴルフ大会)	・開催回数 ゲートボール大会 1回 グランドゴルフ大会(団体戦) 1回 グランドゴルフ大会(個人戦) 1回	28人 96人 98人	28人 96人 98人
地域版 いきいき百歳体操教室	地域住民(40歳以上)	地域版「いきいき百歳体操」(30分程度のストレッチや筋力向上のための運動)等の実施。新規地区5地区。年1回の評価実施。	・開催回数 43回	439人	17,560人
③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
いきいきプロジェクト事業	65歳以上市民	・生きがいづくり活動の定期的な実施により、社会参加を通じた介護予防に資する活動の実践。(月1回の活動実施) ・いきいき塾による啓発はコロナウイルス感染拡大を受けて中止し、介護予防のための啓発チラシの配布など実施した。	・開催回数 月1回開催分のみ 5回	6人	15人
④地域リハビリテーション活動支援事業					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)
地域リハビリテーション活動支援事業	介護保険申請者・要支援認定者	退院後の相談事例や地域ケア会議の事例等、在宅生活における転倒予防・自立支援のための専門職による訪問調査および指導 本人・家族やケアマネジャーに対して、自分の課題解決のために、生活習慣の改善や生活行動の支援の実施	・開催回数 3回	3人	3人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 多久市

(2) 任意事業(令和4年度)

② 家族介護支援事業

ア 介護教室の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
家族介護教室	市民一般	・要介護者の状態の維持や改善のために、適切な介護知識・技術を習得する。	・開催回数	5回	26人	71人
イ 認知症高齢者見守り事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
認知症等の見守りシール・安心ネットワーク支援事業	認知症の疑いのある65歳以上の高齢者及び初老期認知症と診断された者	本人の安全確保と家族への支援として「見守りシール」を配布する。	登録者数	26回	26人	26人
			新規	7人		
ウ 家族介護継続支援事業						
(イ) 介護者交流会の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
介護カフェ運営事業	高齢者とその介護者、市民一般	介護が必要な高齢者とその介護者、地域の方々が気軽に集える場として開催 コロナ感染症拡大により1回の実施となったが、「大人の読み聞かせ」と映画の視聴を内容とした。	教室回数	9回	24人	24人
※介護用品の支給に係る事業						
事業名	対象者	実施内容			実人数	延べ人数
介護における負担軽減(紙おむつ等支給)事業	要介護4・5または、65歳以上在宅で所得税非課税世帯に属し、常時失禁状態にあるの寝たきりの方	該当者に月5000円または6375円分の紙おむつ等の購入費を助成した			8人	76人
(i) 高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii) 任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討 介護用品支給以外の任意事業			(iii) 介護用品支給の廃止・縮小に向けた具体的方策	
該当なし		見守り支援シール交付事業の実施	紙おむつ、尿とりパット、おしりふきなど		R6年度から佐賀中部広域連合の方針に沿って実施	

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
成年後見制度利用支援事業	市長申立てを行う高齢者及び家庭裁判所より成年後見人等が選任された高齢者のうち、生活保護受給者及びこれに準ずる者、申立て費用等の負担が困難であると市長が認める者。	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度制度の申立などを行う。 成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・申立件数	1件		
			・助成件数	1件		
エ 認知症サポーター等養成講座						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			延べ人数
認知症サポーター養成講座	講座を希望する地域・民生委員会や市内義務教育学校生、多久高校生等	キャラバンメイトによるサポーター養成マニュアルに準じた講座の実施 地区講座におけるステップアップ講座の実施	・サポーター講座開催回数	19回		642人
			・ステップアップ講座開催回数	12回		320人
			実人数	80人		
カ 地域自立生活支援事業						
③ 地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
配食・見守りサービス事業	65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯であり、調理困難や安否確認が必要な者	心身の障害等により、安否確認を要す、また調理が困難な方に、弁当を手渡し配布し、食の確保による栄養改善と見守り(安否確認)	・配食数	12食	724人	17010食
			実人数	69人		

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 多久市

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1) 在宅医療・介護連携推進事業(令和4年度)

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握			
実施内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・「よかとこ連携マップ」活用のための啓発。 ・SW/病院/施設部会では、予測可能な災害(大雨など)における避難所等への支援(相談や物品貸し出しなど)をまとめて冊子を作成した。 ・通所部会において、施設の実施内容とストレングスをまとめ、冊子を作成した。 			
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討			
実施内容			会議開催件数
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看取りについての高齢者及び介護家族への意識調査を実施した。聞き取り調査252名 ・地域ケア会議の課題であった口腔フレイル対策として口腔ケアプロジェクトチームを設置。啓発や相談会、口腔体操DVD(地域や施設で利用)を作成活用を促した。 			18件
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進			
実施内容			
多久市在宅医療介護連携推進協議会の実務者(各部会代表者等)会議を月1回開催 窓口病院と協力病院等の担当者で連携にかかる事業等の企画を実施した			
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援			
実施内容			
市民公開講座や多職種研修、在宅医療介護連携専門部会などの参加者アンケート結果の報告 アンケート結果からの事業内容を協議した			
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援			
実施内容		相談窓口数	相談員数
地域の医療・介護関係者からの「つながりネットワーク」相談を継続した。連携がすすむように、毎月の民生委員会では活動報告を行った。 相談件数 48件		2箇所	2人
(カ) 医療・介護関係者の研修			
実施内容		多職種研修	その他研修数
各専門職による部会(5部門)による活動を継続実施。 専門部会はコロナ禍の対応ではリモートでの情報共有とし、その後体面による研修会など取り組み方法を工夫し開催した。 多職種研修会はリモートで実施し、訪問看護の活動について研修会とした。また、他専門職への質問を実施し、回答して共有する機会を設けた。 多職種研修会に民生委員が4名参加。1地区は地区民生委員会で研修会の録画を見る研修会を実施された。		1回	18回
(キ) 地域住民への普及啓発			
実施内容			
CATVでの放映「余命三か月」在宅看取りの啓発劇の放映、「在宅看取りなど意識調査」の実施と調査結果の報告に地区老人会等に実施。「エンディングノート」の啓発の実施。			

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 多久市

(2) 生活支援体制整備事業(令和4年度)

(ア) 生活支援コーディネーターの配置

実施内容

生活支援コーディネーター(以下、コーディネーター)を1名配置。
 地域の通いの場代表者との話し合いの機会を少人数で行った。
 地域の通いの場に参加している方の意見や「困りごとアンケート」の結果を受けて、商工会の協力によるFAX調査を実施し、協力してくれるお店の情報など1冊にまとめ、「くらしの連絡帳」を作成し全戸配布した。

(イ) 協議体の設置

実施内容

- ・第2層的に各町の協議体活動を年3~4回実施、市の協議体会議を年3回実施した。
- ・市の協議体を「幸せますますささえあい隊」とネーミングして、区長会等に出向き活動の理解や啓発を行った。
- ・市の協議体活動では、先進地の取り組みや他地区の取り組みなどの情報を得ることができた。
- ・1地区で互助による移動支援が開始された。

(ウ) その他()

実施内容

(3) 認知症総合支援事業(令和4年度)

① 認知症初期集中支援推進事業

実施内容

市内事業所と業務委託契約締結。
 委託後、コロナ感染症の拡大により訪問活動が実施できなかった。
 よって、認知症地域支援員等による訪問後、チーム員の訪問、チーム員会議を実施した。
 初期集中支援ネットワーク会議では、認知症初期集中チームの活動とかかりつけ医との情報連携から定期通院や内服支援ができるようになった事例を中心に検討会を実施した。かかりつけ医からの相談と連携の必要性がわかった。
 ・相談数14人、訪問実人数(新規)2人 ・訪問延べ人数 15人 ・チーム員会議 3回 ・訪問活動日数 5日

② 認知症地域支援・ケア向上事業

実施内容

- 1) 認知症地域支援推進員を配置。
 市役所窓口や秋後予防教室や地域版介護予防教室の参加者、通いの場代表者等からの相談による自宅訪問を実施した。訪問では、認知症ケアパスを活用すること、MMSE検査を実施した。また、生活実態の把握、医療の状況など把握し、かかりつけ医や家族等との情報共有を行った。
- 2) 認知症サロン活動として、思い出クラブを実施した。コロナ感染症拡大により中止した時期もあり、会場を地区公民館に変更し実施した。年間81回実施、実人数31名、延べ683名の参加があった。参加者の家族への「家族通信」を配布した。
- 3) 認知症カフェは、2事業所に委託し実施した。市報の特集で掲載、CATVでの活動を放映し、市民への啓発を行った。コロナウイルス感染症拡大を受けて利用者の自粛・キャンセルもあったが、教室を継続できた。

③ 認知症サポーター・地域づくり事業

実施内容

- 1) 認知症コーディネーターの配置
 認知症の方及び家族の方々のニーズの把握のため、窓口相談事例等に訪問など実施した。
 地域にチームオレンジの活動を理解し、活動を展開できるよう地域での活動に取り組み、3地区のチームオレンジが設置できた。
 ほかにステップアップ講座まで実施している地区が2地区となっている。

(4) 地域ケア会議推進事業

実施内容

地域ケア推進
会議
の開催数

- ・包括支援センター運営委員会は、年度末に実施していたが、翌年度5月開催に変更する旨の同意を得た。
 よって、今回は令和5年1月までの事業実績を書面にて報告した。
- ・各町の代表民生委員(10名)の会議にて、「在宅医療介護連携推進会議」について説明し、委員として参加の継続ができた。
- ・委員会の構成委員に区長会からの代表者に参加を求め承諾を得ることができた。

1 回

令和4年度 主要事業の実施状況の概要 【 小城市 】

1 新規事業について

なし

2 継続事業（主な事業）について

（1）生活支援体制整備事業

平成31年度に社会福祉協議会内に小城市支えあいセンターを設置した。毎年、利用者、協力ボランティア登録者数は共に増加しているが、利用者に協力ボランティア数が追いついていない状況である。付き添い支援に対する要望が多く寄せられており、令和3年度からは支援車両台数を増やして活動を行っている。

（2）在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護連携に向けた多職種を対象とした研修会や意見交換、交流会を開催したほか、当事者や実際に支援を行っているサービス事業所に登壇をいただき市民公開講座を開催した。また、『小城市医療福祉マップ（市民版）』の更新を行い、市民への周知を図った。

（3）認知症施策推進事業

令和4年度からチームオレンジコーディネーターを配置し、チームオレンジの立ち上げに向けて取り組んだ。毎月市内3包括の認知症施策担当者が集まり、チームオレンジの立ち上げに向けた関係者の活動報告や連携を目的にオレンジ座談会を開催した。介護予防に向けたオレンジサロン・カフェを開催し、認知症当事者や家族の支援を実施し、認知症サポーター養成講座やステップアップ講座を開催し、市民向けに認知症の普及啓発を図った。

（4）一般介護予防事業

いきいき百歳体操やふれあいサロン、生きがいデイサービス事業等を実施し、多くの市民に参加を促すため多様な取り組みを行い、介護予防の普及に取り組んだ。

3 課題について

更なる高齢化が予想される中、高齢者の介護予防を重点にした自立支援・重度化防止の取り組み。また、生活支援体制整備事業に係る協力ボランティアや認知症施策推進事業のチームオレンジ立ち上げなど関係機関や関係者、市民を含めた地域包括ケアを担う幅広い人材の参画と育成、地域で支えるしくみづくりの推進。

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 小城市

地域支援事業費合計						
1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和4年度)						
(1) 介護予防・生活支援サービス事業						
(ア) 訪問型サービス事業						
事業名	対象者	実施内容		利用人数	利用回数	
訪問型サービスB	要支援者・事業対象者	ごみ出しや買物、外出支援等利用者の生活上の多様な困りごとに対する住民主体の支援を担う団体に対して、コーディネート業務にかかる費用の補助を行う。		91人	1,231回	
(イ) 通所型サービス事業						
通所型サービスA	要支援者・事業対象者	必要な日常生活上の支援やレクリエーション等を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持又は向上させる。		7人	477回	
通所型サービスC	要支援者・事業対象者	運動器の機能向上プログラム等を実施するとともに、栄養改善プログラム、口腔機能の改善・向上をさせるための支援を行う。		4人	146回	
(2) 一般介護予防事業(令和4年度)						
(イ) 介護予防普及啓発事業						
① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布						
事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)	
広報誌発行(市報おぎへの記事掲載)	市民	広報さくらに「包括支援センターだより」として毎月介護保険の内容や介護予防についての記事を掲載している。	・発行回数 ・発行部数	12 198,700		
③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催						
(1) 運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
元気アップ教室(フォローアップ教室含む)	65歳以上で基本チェックリスト該当者	生きがいディサービスの事業を活用し、対象者に対して、有酸素運動、ストレッチ、重り等器具を用いた運動等(いきいき百歳体操)を実施し、運動器の機能を向上させる。週1回、半年間で24回実施する。また、元気アップ教室終了者に対し、引き続きフォローアップ教室として週1回、半年間の24回実施する計画であったが、R3年度も新型コロナウイルス感染予防のため実施できない期間が生じた。	・開催回数 会場数 教室数	443回 2箇所 2箇所	86人	2,984人
(3) 口腔機能の向上プログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
口腔訪問指導	市の福祉サービス利用者や総合相談においてチェックリストで必要と判断された人	歯科衛生士と看護師にて家庭訪問し、個別に口腔指導を実施する。	・訪問回数	108回	31人	108人
(4) その他のプログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
うつ・閉じこもり訪問	市の福祉サービス利用者や総合相談においてチェックリストで必要と判断された人	うつや認知症疑いの人に対し、看護師が訪問する。	・開催回数	21回	21人	21人
オレンジ大学(フォローアップ)	65歳以上の高齢者	認知症予防における運動指導プログラムの実施	・開催回数	16回	31人	211人
生活リハビリフォローアップ	65歳以上の高齢者で自ら移動手段が無く独居または高齢者世帯	介護予防教室やサロン等に参加している高齢者を対象に、社会参加・買い物支援を中心とした介護予防事業	・開催回数	12回	20人	69人
(5) プログラムに参加する医師の判断						
事業名	対象者	実施内容	単価	件数	参加者数(実)	参加者数(延)
医師による診断業務		元気アップ教室及びフォローアップ教室参加者に対し、介護予防事業利用の適宜に係る主治医の診断を行なう	1,100円	9件	9人	9人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 小城市

(ウ) 地域介護予防活動支援事業							
② 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援							
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)	
いきいき百歳体操	65歳以上の高齢者	重りを使っての体操で筋トレを目的に実施し、自治会単位の住民主体の通いの場として継続させる。また、全体交流会を開催した	・開催回数	1,526回	247人	13,005人	
			・実施箇所数	30箇所			
高齢者ふれあいサロン事業	各地区の高齢者	保健福祉センターや地区公民館において、閉じこもりがちな高齢者を対象にゲームや健康体操等を行う。	・開催回数	867回		6,345人	
高齢者スポーツ大会	小城市老人クラブ参加者	体力づくりのためのスポーツ大会を開催する。	・開催回数	9回		415人	
			・会場数	4箇所			
高齢者生きがいづくり講座	65歳の高齢者で生きがいづくりに興味のある者	趣味や教養、情報・知識などを提供し、生きがいづくりを支援する講座を開催する。	・開催回数	57回	100人	403人	
			・会場数	7箇所			
老人クラブ健康づくり講座	小城市老人クラブ参加者	認知症予防や健康づくりに関する講演や研修会及び高齢者自身による学習活動を実施する。	・開催回数	24回		700人	
			・会場数	4箇所			
(オ) 地域リハビリテーション活動支援事業							
① 地域リハビリテーション活動支援事業							
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)	
介護予防地区指導・評価会議	65歳以上の高齢者	介護予防運動等を実施している地区にPTが外向き、指導を行う。また体力測定の結果等を用いて評価会議を年2回実施する。 ※コロナの鎮静化に伴い、年度後半に一部地区への実地指導と全体力測定実施者へのコメント記載による評価を行った。	・開催回数	2回	5人	8人	
			・評価会議7/27・1/25				
			・地区指導	11箇所	6人	11人	
			・体力測定個人評価	1回		258人	

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 小城市

(2)任意事業(令和4年度)

② 家族介護支援事業

ア 介護教室の開催

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			開催回数(延べ)	12回		
認知症カフェ	認知症の人やその家族	専門職による介護のミニ講座や家族との座談会(相談会)、認知症予防として創作活動などを実施する。			19人	103人

イ 認知症高齢者見守り事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			開催回数(延べ)			
認知症見守りシール配布	見守りキーホルダー登録者で徘徊の恐れがある人	見守りキーホルダー登録の高齢者に衣服等に貼り付ける見守りシールを配布し、徘徊等に対して発見者が通報しやすい体制をつくる(10,000枚作成し1人20枚を目安に配付)			8人	8人

ウ 家族介護継続支援事業

※介護用品の支給に係る事業

事業名	対象者	実施内容	実人数	
			13人	延べ人数 121人
紙おむつクーポン券配布事業	要介護4・5かつ住民税非課税世帯で常時失禁状態(訪問調査を行う)の人(1人8,000円/月)	常時紙おむつを使用している在宅高齢者に対し、紙おむつクーポン券を支給する。 【対象者】13名 ※76,500円以上4人		

(i) 高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針	(ii) 任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討 介護用品支給以外の任意事業	(iii) 介護用品支給の廃止・縮小に向けた具体的方策
在宅で常時失禁状態があり、介護保険要介護4・5の認定で住民税非課税世帯の者に対し紙おむつクーポン券を配付することにより、高齢者の在宅生活の継続を支援し、あわせて介護家族の経済的負担を軽減する。	高齢者数の増加に伴い、クーポン券対象者の数も増加すると思われる。在宅の高齢者が対象のため、施設入所した場合も配布を希望される声が多い。	現時点で具体的方策は立てていない。

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	
			・申立件数	0件
成年後見制度利用支援事業	市民	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度制度の申立などを行う。 成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・助成件数	3件

エ 認知症サポーター等養成講座

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		延べ人数
			認知症サポーター養成講座	4回	
認知症サポーター養成講座	市民	市内の地区組織、企業等で、「認知症サポーター養成講座」のテキストを使用し、講座を実施する。担当地区の包括により講座を実施する。	・ステップアップ講座開催回数	3回	108人 60人

カ 地域自立生活支援事業

③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
			・配食数	13,352食		
配食サービス	食事の確保が困難な65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯				71人	559人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 小城市

3 包括的支援事業(社会保障充実分)(令和4年度)

(1) 在宅医療・介護連携推進事業

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

実施内容

- ・令和4年6月27日、7月27日、1月25日に啓発広報部会を開催
- ・市民版医療・福祉マップ更新版を作成し令和4年10月に下記に配布
配布先:小城市内病院・クリニック、歯科、薬局、介護サービス事業所等

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

実施内容

会議開催件数

- 小城市在宅医療・介護連携推進協議会を開催。
- 第1回 令和4年6月6日
①小城市の統計について ②前回会議の振り返り ③今年度の各部会の取組について
- 第2回 令和4年12月6日
①啓発広報部会の取組みについて ②研修部会の取組みについて ③在宅医療介護連携サポート全体会議の報告
④来年度の計画について

2 件

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

実施内容

- *「小城市在宅医療・介護連携推進協議会」および「専門部会」を設置。
協議会委員(16名):医師2名、歯科医師1名、薬剤師1名、ケアマネージャー5名、医療ソーシャルワーカー2名、訪問看護師1名、理学療法士1名、包括支援センター3名
- 【専門部会】
啓発・広報部会(12名)、研修部会(23名)

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

実施内容

- 小城市内3病院との話し合い5月20日
退院支援窓口(市外)の一覧表の作成について、退院支援ルールチラシの作成について
11月1日 医療・介護関係者の意見交換と交流会を開催

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

実施内容

相談窓口数

相談員数

- 市内の医療機関3か所に相談窓口を設置し、地域の医療・介護関係者や地域包括支援センターからの相談等を受け付け、連携調整、情報提供等の支援を行ってもらう。
- 相談窓口
江口病院(相談件数:15件)
ひらまつクリニック(相談件数:168件)
小城市民病院(相談件数:10件)

3 箇所

3 人

(カ) 医療・介護関係者の研修

実施内容

多職種研修

その他研修数

- ・5月19日「自然災害に対する危機意識をもとう～私たちにできること～」オンライン開催
- ・3月17日 医療・介護連携推進のための研修「コロナ禍の看取りについて」69名参加

2 回

0 回

(キ) 地域住民への普及啓発

実施内容

- ・9月2日市民公開講座開催「訪問看護をご存知ですか」75名参加

(2) 生活支援体制整備事業(令和4年度)

(ア) 生活支援コーディネーターの配置

実施内容

- * 第1層、第2層生活支援コーディネーターを配置(兼務) 1人
- * 生活支援コーディネーター事務を配置 1人
- * 小城市社会福祉協議会が小城市支えあいセンターを設置
- * ボランティアを中心とした生活支援「買い物支援」「ゴミ出し支援」「付き添い支援」を実施。
- * 地域住民の意見集約、協議体会議の資料作成。
- * 生活支援コーディネーターだより 8月・11月発行
- 支えあいセンター利用登録者数 142名
- ボランティア登録者数 71名

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 小城市

(イ)協議体の設置	
実施内容	
<p>【第1層協議体】</p> <p>* 第1回 (6/28) 20人(委員19人、アドバイザー参加)</p> <p>【第2層協議体】</p> <p>* 小城市 第1回(5/13:19人) 第2回(8/9:14人) 第3回(11/28:13人)</p> <p>* 三日月町 第1回(4/20:10人) 第2回(6/22:10人) 第3回(9/9:6人) 第4回(11/11:10名) 第5回(2/24:7名)</p> <p>* 牛津町 第1回(5/11:8名) 第2回(7/25:6名) 第3回(8/24:6名) 第4回(11/24:4名) 第5回(3/1:4名)</p> <p>* 芦刈町 第1回(5/16:9人) 第2回(8/17:11人) 第3回(10/27:9人) 第4回(1/30:12名)</p> <p>* 4町合同会議 [2/6] (小城市:11人、三日月町:8人、牛津町:6人、芦刈町:10人)</p>	
(ウ)その他()	
実施内容	
<p>小城市市民公開講座</p> <p>1/21 やるなら今でしょ! あなたにもできる「おたがいさま」の支えあい～あなたの空き時間を活かしてみませんか?～をテーマに開催。会場67人参加</p> <p>生活支援ボランティア養成講座</p> <p>●運転技術講習会 6/24:4人、9/28:3人 ●介護予防とボランティア活動 9/16:19名 ●救急法講習 10/5:16名</p> <p>●コミュニケーションについて/高齢者の機能と認知症の方の対応 10/7:19名 ●かんころの家を見学しよう 10/25:19名</p>	
(3) 認知症総合支援事業(令和4年度)	
①認知症初期集中支援推進事業	
実施内容	
<p>【認知症初期集中支援チーム検討委員会】</p> <p>令和5年3月9日</p> <p>①対応事例と実績について</p> <p>②小城市認知症初期集中支援チームの現状と課題について</p> <p>【認知症初期集中支援チーム】</p> <p>実績1件(現在進行形)</p> <p>【もの忘れ相談会】</p> <p>年間12回開催予定のうち、実績3回、参加者3人</p>	
②認知症地域支援・ケア向上事業	
実施内容	
<p>【認知症地域支援推進員の配置(会計年度任用職員)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の支援(相談・訪問・連携) ・認知症サポーター養成講座 ・認知症サポーター登録 <p>【認知症サロンの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サロン(若年性・認知症初期) 23回 参加数(延)104人 ・認知症サロン(医療機関型) 孟子会…12回 参加数(延)185人 修和会…10回 参加数(延)98人 	
③認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業	
実施内容	
<p>【認知症地域支援推進員の配置(会計年度任用職員)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジの支援 	
(4) 地域ケア会議推進事業(令和4年度)	
実施内容	地域ケア推進会議の開催数
<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型の地域ケア個別会議を市主催とし3包括で計7回実施 ・直営・北部合同で地域ケア代表者会議、また、南部包括主催の地域ケア代表者会議への参加も行っている。(北部地区代表者会議 4回、南部代表者会議1回) ・地域包括支援センター運営委員会時に地域課題の報告及び施策の提言等を議題とし、地域ケア推進会議としている。(第1回7/12、第2回2/15) 	2回

令和4年度 主要事業の実施状況の概要 【 神崎市 】

1 新規事業について

‘認知症にやさしいまちづくり事業’として下記について取り組みました。

○任意事業

- ・家族介護支援事業（認知症普及啓発事業）としては、

認知症を知ってもらうための仕掛けとして市内の高校と大学にイラストを募り、市内を走行する巡回バスやマグネットに採用されたイラストをプリントし、公用車や市内の介護・福祉サービス事業所の車両に貼付しました。

○包括的支援事業（社会保障充実分）

- ・認知症総合支援事業（アルツハイマー月間広報事業）としては、

世界アルツハイマーデー及びアルツハイマー月間に合わせて、オレンジライトアップ（古賀銀行神埼支店、神崎市役所をオレンジ色にライトアップ）、パネル展示は、市役所本庁及び各支所のロビーにて映画のPRや図書館の協力も仰ぎながら、認知症関連の本について紹介しました。シアター上映会では、若者や現役世代が興味を持つような映画を選定し、夜間の上映も試みました。

2 継続事業（主な事業）について

○任意事業として

‘認知症にやさしいまちづくり事業’の位置づけで、認知症を正しく知るために、認知症サポーター養成講座、認知症講演会、認知症当事者発信支援事業、認知症高齢者等声かけ訓練事業を行いました。

○保健福祉事業として、

ハッピーシルバーサロン事業の補助期間を3年から5年に拡充し、安定的な運営を行えるよう段階的に自主化及び継続化の後押しを行いました。

○介護予防・日常生活総合事業（通所サービス）として、

「元気が出る学校」事業を1クール（4ヶ月）のみの実施から通年実施に拡大し、一般介護予防事業から総合事業の通所型サービスCへ移行し実施しました。

3 課題について

市民のニーズが多様化している現状で高齢者の相談も複雑化・複合化しており、業務内容も増化しています。その業務内容に対してのマンパワー不足が生じていることが課題と思われれます。

一方で、認知症になっても地域で生活できる「共生」と「予防」の施策をすすめていくことが重要ですが、今後は地域包括ケアシステムを支える介護分野での人材の確保も課題となり、その手立て（施策）を求められると感じています。

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 神崎市

地域支援事業費合計						
1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和4年度)						
(1) 介護予防・生活支援サービス事業						
(イ) 通所型サービス事業						
事業名	対象者	実施内容		利用人数	利用回数	
元気が出る学校事業	第1号被保険者	生活行為に支障のある高齢者に対し多職種による介護予防プログラムを実施する。終了後は地域や自宅での介護予防行動や生活改善につなげる。		341人	40回	
(2) 一般介護予防事業(令和4年度)						
(イ) 介護予防普及啓発事業						
① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布						
事業名	対象者	実施内容	発行月	発行部数(部)		
地域支援だよりの発行	市内全世帯	市内全世帯に対し、年に1回(7月)介護予防に関する情報や、各種教室の紹介を掲載した印刷物を発行。(11,900部/回)	R4.7月	11,900部		
② 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための有識者等による講演会や相談会等の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
介護予防地区相談	第1号被保険者	地区公民館等を利用して、介護予防事業の周知啓発に努め、介護予防相談や健康学習会を実施する。	・開催回数(講演) 14回 ・開催回数(相談) 0回	157人 0人	157人 0人	
③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催						
(1) 運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
脳若教室	第1号被保険者	タブレット端末やテキストを用いた認知症予防トレーニングを行うことで、記憶力の向上だけでなく、日常生活の中で認知症予防の意識づけを図ることを目的とする。	・開催回数 12回	21人	221人	
おたっしやいきいきクラブ	第1号被保険者	レクリエーションや運動、脳トレを通して、心身の機能が低下した高齢者等の介護予防を図り、社会参加できる場づくりをする。	・開催地区 5地区 ・開催回数 879回	180人	6,157人	
筋力アップ養成塾	第1号被保険者	健康運動指導士による筋力アップ体操の実施。	・開催地区 3地区 ・開催回数 78回	121人	1,726人	
介護予防水中運動教室	第1号被保険者	運動機能の低下がみられる65歳以上の方を対象に、3か月間週に1回水中運動を中心に実施。	・開催回数 12回	8人	88人	
シニア筋力向上トレーニング事業	第1号被保険者	スポーツジムで筋力トレーニングを行うことにより、体力の維持、増進や介護予防を図る。	開催回数 48回 103回	37人	524人	
(5) プログラムに参加する医師の判断						
医師の意見書確認	第1号被保険者	一般介護予防事業に参加するための意見書:1件	単価	件数		
			1,100円	2		
(ウ) 地域介護予防活動支援事業						
① 介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
介護予防サポーター養成講座事業	市内在住65歳以上の方	地域リーダー養成し、一般介護予防事業の場で介護予防の一役を担ってもらう事を目的とする。	・開催回数 17回	10人	108人	
介護予防教室(地区)	市内在住65歳以上の方	地区の高齢者が公民館等に集まり、重りを用いた体操を主体的に行う集いの場の設置の手助けを行う。また、定期的なフォロー時に栄養や口腔など介護予防の講話を受講し、介護予防の取組みを実施する。	・開催回数 124回 ・新規地区支援立ち上げ支援 91回	12か所 47か所	829人 657人	
② 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
高齢者ふれあいサロン事業	市内在住65歳以上の方	希望する地区の高齢者を対象に、レクリエーションや運動を通して、介護予防を図るとともに仲間づくりや生きがいづくり及び閉じこもりがちな高齢者等が社会参加できる場づくりをする。	・開催回数 110回		1,065人	
③ 社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
世代間交流事業	市内老人クラブ会員	老人クラブの会員が世代を超えた交流を図ることで介護予防を促進する。	・開催回数 6回		385人	
ボランティアヘルパー事業	市内老人クラブ会員	老人クラブの会員(ボランティアヘルパー)が、地区の寝たきりの方、独居老人、高齢者夫婦、閉じこもり傾向者に対し、散歩の介助、通院介助、ゴミ出し、買物、庭の掃除等を行うボランティアの育成及び支援を行うことにより、介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援を行う。	研修会 3回 訪問 623回		250人 623人	

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 神崎市

(2)任意事業(令和4年度)

② 家族介護支援事業

イ 認知症高齢者見守り事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
			年度末時点登録者数	25人		
認知症高齢者等見守りシール配布事業	認知症高齢者等	神崎市認知症高齢者等事前登録制度に登録いただいた方で、かつ希望される方を対象に携帯電話などで読み取ることのできるQRコードが印字されたシールを配布し、行方不明時の早期発見に繋がるよう努める。				
高齢者見守りネットワーク事業	事業者、団体、機関	日常生活や業務の中で高齢者を見守るネットワーク登録事業者を募り、活動促進を図る。さらに、見守りを強化すべく犬の散歩で地域をまわる方に「わんわんパトロール」として協力を依頼した。	わんわんパトロール登録 ネットワーク登録事業者数 ネットワーク登録機関数 ネットワーク登録団体数	284人 154事業者 9機関 8団体		
認知症高齢者等声かけ訓練	市民	地域の見守り体制の強化を図るため、道に迷っている高齢者や不安そうにしている高齢者への声のかけ方や対応の仕方を練習するとともに、見守りQRシールを使った見守り訓練を行った。	開催回数	1回	56人	
認知症普及啓発事業	市民	認知症施策推進大綱のテーマである「共生」をイメージしたイラストを作成し、イラストをラッピングした巡回バスおよび広報マグネットを貼付した介護サービス事業所等の車両が市内を走行して市民への認知症の普及・啓発を図った。	開催回数(延べ)			

ウ 家族介護継続支援事業

※介護用品の支給に係る事業

事業名	対象者	実施内容	実人数	延べ人数
紙おむつ支給事業	在宅寝たきり等高齢者	紙おむつクーポン券の支給 【住民税課税世帯】 毎月5,000円/人、年額60,000円/人上限 【住民税非課税世帯】 毎月6,000円/人、年額72,000円/人上限	11人	104人
(i)高齢者の個別の状態を踏まえた自立支援の観点に立った適切な用品の支給方針		(ii)任意事業における各事業の課題の把握、および対応方針の検討 介護用品支給以外の任意事業		
年に一度、自宅訪問を行い、介護状況やおむつの使用状況の確認を行っている。合わせて、入退院の連絡をいただく際の相談についても、状況に合わせてケアマネジャーと情報共有を図っている。		年に一度の訪問時に、家族等へのニーズの聞き取りを行っており、今後どのように事業へつなぐかが課題。	なし	令和3年度からの新規対象者については、保健福祉事業へ移行するとともに、要介護3以上かつ非課税世帯とすることとした。旧事業については、介護度の低い方も多く、人数の大きな変化はない。

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	
			・申立件数	2件
成年後見制度利用支援事業	判断能力が十分ではない高齢者で、親族での申立が望めない者	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度の申立などを行う。	・助成件数	0件
	生活保護受給者等の低所得者でかつ後見開始、保佐開始又は補助開始の審判を受けた者	成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・配布回数	1回
	全市民	成年後見制度に関する広報誌の発行 11,900部		

エ 認知症サポーター等養成講座

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		延べ人数
			・サポーター講座開催回数	17回	
認知症サポーター等養成講座	地域住民等	各種団体や地域の集まりの場において、認知症に対する正しい理解や認知症の人に対する接し方を学ぶ講座を開催。また、より実践的な知識について学ぶステップアップ講座を開催。	・ステップアップ講座開催回数	114回	491人 1,197人

カ 地域自立生活支援事業

③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)

事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
			・配食数	9,496食		
神崎市配食サービス事業	65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯又はこれに準ずる世帯に属する高齢者	月曜日から金曜日までの週5回を限度として提供するとともに、当該利用者の安否を確認し、異常等があった場合は関係機関へ連絡等を行う。 見守り支援：一食当たり260円、調理人件費：90円	・配布数	52人	948人	675人
緊急医療情報キット配布事業	65歳以上の単身世帯、高齢者のみ世帯、65歳以上が日中独居となる世帯及び65歳未満の要介護認定取得者	緊急連絡先・かかりつけ医等を記載した用紙や保険証の写しなどを入れた情報キットを作成。万が一の場合に迅速かつ適切な救急医療活動を行うための情報ツールとして活用する。				

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 神崎市

3 包括的支援事業(社会保障充実分)(令和4年度)

(1)在宅医療・介護連携推進事業

(ア)地域の医療・介護の資源の把握			
実施内容			
神崎市郡内の医療機関及び介護事業所の基本情報や機能等を把握し、神崎市及び吉野ヶ里町のホームページにアップしている。ホームページ上に掲載している情報は随時更新するとともに、新たな医療機関、介護事業所等の情報把握を行った。			
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討			
実施内容			会議開催件数
地域の医療機関・介護事業所等へアンケート調査を依頼し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出を行い、抽出した課題は、各グループ窓口へ課題の解決策とについて学習会を依頼し検討を行う。 【会議実績】すべてWEB会議での開催 ・在宅医療連携拠点委員会 5回実施 (4/27、8/24、10/26、12/21、2/22) ・神崎市郡医師会在宅医療・介護連携推進協議会 3回実施 (5/18、10/12、3/1) ・グループ相談窓口連絡会議 3回実施 (4/20、10/12、3/1) ・グループ相談窓口担当者会議 1回実施 (6/1)			12 件
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進			
実施内容			
切れ目のない在宅医療と介護が一体的に提供される体制として退院支援ルールを運用している			
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援			
実施内容			
情報共有ツール(カナミック)の周知啓発のため運用方針を整備した。 利用者ID 139件、患者部屋 29件			
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援			
実施内容			相談窓口数
在宅医療・介護連携支援センターを神崎市郡医師会事務局に設置し、医療・介護従事者からの相談対応、情報提供等を行う。 ・相談件数 62件			5 箇所
			5 人
(カ)医療・介護関係者の研修			
実施内容			多職種研修
グループ相談窓口合同運営委員会:1回開催(7/6) 神埼病院:コロナウイルス感染症感染拡大に伴い運営委員会、研修会は中止 橋本病院:1回開催(8/25) こすもす苑:2回開催(8/10、11/16) ひらまつふれあいクリニック:1回開催(10/27)			5 回
			0 回
(キ)地域住民への普及啓発			
実施内容			
市民公開講座はコロナウイルス感染症感染拡大に伴いWEBで開催した。(11/7) また在宅医療の周知・啓発を図るためにリーフレットを購入し、関係機関の窓口や居宅介護支援事業所を通じて配布した。			

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 神崎市

(2) 生活支援体制整備事業(令和4年度)

(ア) 生活支援コーディネーターの配置

実施内容

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、関係者のネットワークや既存の組織等を活用しながら、コーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援等サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進していく。

(イ) 協議体の設置

実施内容

地域のニーズ・既存の地域資源の把握を行い、地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成、高齢者などが担い手となって活動する場の確保を行うため、第1層協議体・第2層協議体を設置し、社会資源の把握・地域に不足するサービスの創出、担い手の養成等、高齢者の地域づくりに繋ぐことができるよう、先進地の視察、協議・検討を重ねていく。

第2層協議体の数: 3ヶ所(神埼町・千代田町・脊振町) 第2層協議体実人数: 62名(神埼20人、千代田28人、脊振14人)

第2層協議体(会議)開催回数: 27回(神埼11回、千代田7回、脊振9回)

居場所づくり(コミュニティカフェ)の開催: 10回(神埼5回、千代田4回、脊振1回)

きらっと千代田グラウンドゴルフ大会の開催: 1回

脊振笑おう会グラウンドゴルフ大会の開催: 1回

つど居間所(神埼) 24回

神埼出前カフェ 14回

視察(3地区合同) 1回(25名参加)

第1層協議体の数: 1協議体

協議体会議開催: 1回

協議体委嘱14人

(ウ) その他()

実施内容

(3) 認知症総合支援事業(令和4年度)

① 認知症初期集中支援推進事業

実施内容

認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関り、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を目的として、市直営で認知症初期集中支援チームを設置。

・チーム介入事例0事例 ・検討委員会1回開催 ・認知症初期集中支援研修会1名参加

実施内容

【認知症総合支援事業】(認知症予防講演会) 1回/年

(R4.9.16開催、講師: ハリー杉山氏(タレント))

【認知症総合支援事業】(認知症予防普及啓発チラシ) 3回発行/年(8月、12月、2月) 11,900部

【認知症総合支援事業】(推進員配置) 1人

認知症地域支援推進員研修 2名受講

【認知症総合支援事業】(アルツハイマー月間広報事業)オレンジシアター(映画上映会) 2日開催 映画「長いお別れ」

【認知症総合支援事業】(認知症カフェ運営支援事業) 1事業所

【認知症総合支援事業】(ものわすれ相談室) 9回開催 相談者22名

【認知症総合支援事業】(認知症当事者発信支援事業) 1回/年

(R5.1.28開催、講師: 橋本 学氏(肥前精神医療センター))

野口 佳代子氏(認知症の人と家族の会佐賀県支部)

城戸 亜希子氏(桜美林大学)

(4) 地域ケア会議推進事業(令和4年度)

実施内容

地域ケア推進
会議
の開催数

○ 地域ケア推進会議

第1回神崎市地域ケア推進会議 コロナウイルス感染拡大に伴い、書面会議にて開催

第2回神崎市地域ケア推進会議 令和5年2月15日

○ 地域ケア連絡会議 12回開催(毎月開催)

○ 地域ケア個別会議 4回開催(定期開催 6/17 10/21 1/19 3/15)

○ 地域ケアネットワーク会議

第1回地域ケアネットワーク会議 令和5年2月22日開催(高齢者虐待)

2回

令和4年度 主要事業の実施状況の概要 【 吉野ヶ里町 】

1 新規事業について

①介護予防・生活支援サービス事業として

町独自の多様なサービスとして、訪問型サービスB事業と訪問型サービスC事業を開始。要支援者等の支援ニーズに対して、訪問による住民主体による支援と専門職による短期集中型の生活機能向上や身体機能維持のための支援としてのサービスを創設することができた。

②一般介護予防事業として

短期集中型の介護予防教室として「はつらつ教室」を実施。要介護認定の遅延、重度化防止を目的とした教室で、健康福祉センターのトレーニングルームを利用し、健康運動指導士の指導によるストレッチ、ステップ運動を実施した。

2 継続事業（主な事業）について

①高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

令和3年度から、こども・保健課と連携し、通いの場を利用した「高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業」に取り組んでいる。保健事業と連携することで、通いの場に参加する高齢者が自ら健康状態に関心を持ち、フレイル予防等の意識づけを行い、介護予防事業の充実・促進に繋がっている。

②認知症総合支援事業施策として

昨年度に引き続き、チームオレンジコーディネーターを配置し、認知症サポーターを対象にステップアップ講座を開催した。同時にステップアップ講座の参加者や地域の事業所、認知症の人やその家族を交え、定期的に認知症施策定例会を開催し、地域における認知症の人のための支援体制について協議をし、認知症の人や家族の支援ニーズと認知症サポーターを繋ぐ仕組みとして「チームさくら（チームオレンジ）」を設置した。

③生活支援体制整備事業として

生活支援等サービスに係るボランティアなどの担い手を養成するための講座を社会福祉協議会に委託し実施した。ボランティアが実際に活動するための組織づくりとして、外出支援を目的とした「送迎ボランティア」の実現に向けて仕組みづくりや周知、運営方法等について協議を行い「あしすと会」を結成した。

3 課題について

高齢化に伴い、認知症の人の数も増加することが見込まれる中で、認知症基本法が成立し、共生社会の実現を推進するための認知症施策の充実が求められる。また高齢化に伴う介護ニーズの増大や、高齢者を取り巻く課題の複雑化・多様化を背景とした相談内容の複雑化等で、業務量の増加・負担によるマンパワー不足が課題である。

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 吉野ヶ里町

地域支援事業費合計						
1 介護予防・日常生活支援総合事業(令和4年度)						
(1)介護予防・生活支援サービス事業						
(ア)訪問型サービス事業						
事業名	対象者	実施内容		利用人数	利用回数	
訪問型サービスB (住民主体による支援)		要支援者等を含む高齢者に対して生活支援を実施している住民主体の団体への助成		10人	126回	
訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	要支援者・事業対象者	短期集中的に支援することにより生活機能の向上が見込まれるものに対し、保健医療専門職が自宅を訪問し、生活環境や能力評価を行い、生活機能の向上や身体機能維持のための支援をおこなう		2人	36回	
(2)一般介護予防事業(令和4年度)						
(ア)介護予防把握事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
介護予防把握事業	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	看護師による訪問・相談を行い、状況・実態の把握、介入の必要性のアセスメントを実施し、介護予防につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問による把握 111件 ・電話による把握 0件 ・その他(通いの場等) 114件 相談件数 225件 			
(イ)介護予防普及啓発事業						
① 介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布						
事業名	対象者	実施内容	開催回数	参加者数(実)	参加者数(延)	
町広報誌による普及啓発	町民	町広報誌を1ページ利用し介護予防に関する普及啓発を実施。	発行回数 4 発行部数 7,000			
③ 介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室等の開催						
(1)運動器の機能向上プログラム等(複合プログラムを含む)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
おたっしやクラブ教室	65歳以上の高齢者(要介護認定者を除く)	通所により日常の動作訓練等の各種サービスを提供し、高齢者の社会的孤立感の解消を図るとともに、運動を通して介護予防を図ることで、自立した生活の助長を図る。	・開催回数 203回	44人	1,216人	
地域版いきいき健康クラブ	65歳以上の高齢者	公民館単位で健康運動指導士による指導の下、4か月間週に1回実施。運動・ストレッチ・コグニサイズ・講話を通して、運動・認知機能の維持・向上に努める。公民館単位で実施終了後は、継続した運動習慣と通いの場の構築を目指す。	・開催回数 32回	29人	374人	
はつらつ教室	65歳以上の高齢者	きらら館のトレーニングルームを利用し、健康運動指導士の指導によるストレッチ、ステップ運動を実施。1人あたり90分/週1回×12週間の短期集中的な教室を開催することにより、要介護認定の遅延、重度化を予防する。	・開催回数 96回	25人	324人	
(2)栄養改善プログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
男のための料理教室	65歳以上の高齢者	男性高齢者が参加しやすいように男性に限定して実施。栄養改善等について知識と技術を学び、高齢者の低栄養化、生活習慣病を予防する。	・開催回数 10回	16人	122人	
(3)口腔機能の向上プログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
地域版歯つっぴ教室	65歳以上の高齢者	公民館単位で在宅歯科衛生士による口腔指導を実施。	・開催回数 30回	318人	402人	
(4)その他のプログラム						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)	参加者数(実)	参加者数(延)	
ガンバルーン体操	65歳以上の高齢者	ボールを使った体操や脳トレを通して、運動および認知機能やQOLの改善・維持を図る	開催回数 12回	31人	286人	
(5)プログラムに参加する医師の判断						
			単価	件数		
			1,100円	0件		

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 吉野ヶ里町

(ウ)地域介護予防活動支援事業					
②介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実) 参加者数(延)
介護予防(高齢者サークル)活動支援	65歳以上の高齢者(サークル会員)	高齢者の軽スポーツや手芸教室等のサークル活動を支援し、地域レベルでの介護予防及び生きがい活動につなげる。	・開催回数	29サークル	495人
地域版いきいき健康クラブフォローアップ教室	65歳以上の高齢者	地域版いきいき健康クラブ終了後、自主化した地域に対して、健康運動指導士を派遣し、地域に応じたフォローアップを実施する。地域活動組織の育成。	・開催回数	90回	220人 794人
介護予防活動参加普及啓発(見守り活動)支援	65歳以上の高齢者	地区毎に独居や高齢者夫婦世帯を訪問し、安否確認を行う見守り・訪問活動を実施。	・開催回数	29地区 訪問者75人	198人 4,420人
③社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施					
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実) 参加者数(延)
自主活動(健康体操)支援	65歳以上の高齢者	体力の維持及び老化防止のために、運動を中心とした健康づくり教室を地区公民館等で実施。	・開催回数	65回	58人 1,378人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 吉野ヶ里町

(2)任意事業(令和4年度)

② 家族介護支援事業

ア 介護教室の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
家族介護者教室	要介護者等の家族及び介護や福祉に興味のある方等	介護家族や介護に関心のある方に対して、負担の軽減を図るため、介護に関する知識・技術の習得や情報交換を行う	福祉講座	2回	39人	39人

イ 認知症高齢者見守り事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
認知症高齢者等見守り事業	認知症等により行方不明となるおそれのある方	認知症等により行方不明となるおそれのある高齢者の情報を事前に登録する。登録者の中で希望する人にはQRコード付きの見守りシールを配布し、行方不明時の早期発見や保護に努める。また、登録者の情報を町、社会福祉協議会、神埼警察署と共有する。	見守り台帳登録者		21人	
			見守りシール配布		19人	
ふれあいネットワーク見守り事業	高齢者	町と協力事業者等が連携を図り、地域全体で高齢者の見守りを行い、生活上の問題や異変に気付いた場合には早期かつ的確な対応に繋げることを目的とする。見守り協力者は登録制とし、目印となるステッカーと登録証を配布する。	見守り協力事業者		43事業者	

ウ 家族介護継続支援事業						
(イ)介護者交流会の開催						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		参加者数(実)	参加者数(延)
家族介護者交流事業	高齢者を現に介護している家族	高齢者を現に介護している家族等を対象とし、介護者交流会や旅行、施設の見学などにより介護者の心身の回復を図る ※社会福祉協議会と共同実施	介護者リフレッシュ教室	3回	7人	14人

※介護用品の支給に係る事業						
事業名	対象者	実施内容			実人数	延べ人数
紙おむつ支給事業	在宅寝たきり高齢者等	在宅の高齢者に対して紙おむつを支給することにより、高齢者を介護している者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、高齢者の在宅生活の継続に向けて支援する。	/		2人	24人

③ その他の事業

ア 成年後見制度利用支援事業						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)			
成年後見制度利用支援事業	判断能力の不十分な高齢者(認知症高齢者等)	身寄りのない認知症高齢者などについて市町が後見制度の申立などを行う。 成年後見制度の利用にあたり、成年後見人等への報酬を負担することが困難な者に対し、報酬の助成を行う。	・申立件数	0件	/	
			・助成件数	0件		

エ 認知症サポーター等養成講座						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		延べ人数	
認知症サポーター養成講座	地域住民等	認知症に対する正しい理解や認知症の人に対する接し方を学習する場として講座を開催。(地区や事業所、学校等)に出向いての出前講座形式で実施)	・開催回数	5回	/	
認知症サポーターステップアップ講座	認知症サポーター	認知症サポーターを対象に、認知症に関する基礎知識から応用まで①グループワーク②ロールプレイ③買い物支援実習の3回シリーズで講座を開催。	・開催回数	3回		

カ 地域自立生活支援事業						
③地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業(配食等)						
事業名	対象者	実施内容	開催回数(延べ)		利用者数(実)	利用者数(延)
食の自立支援事業(配食サービス)	65歳以上の単身世帯または高齢者のみ世帯で、心身の障害等のため調理が困難な方	月から土曜日の週6回を限度として見守りが必要な高齢者に対して、食の自立を支援。原材料費用相当分として1食400円の自己負担あり。	・配食数	7,231	64人	7,231人

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 吉野ヶ里町

3 包括的支援事業(社会保障充実分)

(1) 在宅医療・介護連携推進事業(令和4年度)

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

実施内容

医療機関等(病院、医院、歯科医院、薬局等)・福祉事業所等(介護施設、介護事業所等)に所在地や機能等における変更等を照会し、リストマップを修正後、神崎市・吉野ヶ里町のホームページに掲載した。

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

実施内容

会議開催件数

・在宅医療連携拠点委員会5回(4/27、8/24、10/26、12/21、R5.2/22)
 ・神崎市郡医師会在宅医療・介護連携協議会3回(5/18、10/12、3/1)
 ・グループ相談窓口連絡会議3回(4/20、10/12、3/1)
 ・グループ相談窓口担当者会議1回(6/1)
 ・グループ相談窓口合同運営委員会(7/6)
 ※上記すべてWEBにて開催。また、10/12、3/1は、協議会と連絡会議を合わせて開催

11回

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

実施内容

退院支援ルール構築に向け、昨年度実施したアンケート調査から、現状の把握を行うとともに問題点、改善点の検討を行った。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

実施内容

ICTの活用による情報共有の促進を図った。情報共有の支援をしていく中で、課題の抽出と対応策の検討を行った。神崎市郡在宅医療・介護連携情報共有ICTシステム(カナミックシステム)について、利用者(患者)等の情報を共有するため必要な事項を定めた。

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

実施内容

相談窓口数

相談員数

地域の医療・介護関係者等から医療相談について、神崎市郡医師会で受付をし、各グループ相談窓口で医療・介護関係者に情報提供、連携調整等を行った。相談対応窓口やその役割等を関係者等へ明確に伝えるため神崎市郡医師会のホームページで周知啓発を行った。

5箇所

5人

(カ) 医療・介護関係者の研修

実施内容

多職種研修

その他研修数

①7/6グループ相談窓口合同研修会で、ケアマンのオンライン上映会を実施した。
 ②こすもす苑(8/10、11/16)、橋本病院(8/25)、ひらまつふれあいクリニック(10/27)に医療介護関係者の研修会を実施。神崎病院グループ窓口は研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症発生のため、中止とした。

5回

0回

(キ) 地域住民への普及啓発

実施内容

①新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、感染防止の立場から、11/7市民公開講座をWEBにて実施。
 ②「よくわかる在宅医療&介護」という冊子を作成。神崎市郡内の病院、歯科医院、薬局、各介護保険事業所に数部ずつ配布。また、神崎市郡内在住の居宅サービス利用者担当CMを通し、配布した。

(2) 生活支援体制整備事業(令和4年度)

(ア) 生活支援コーディネーターの配置

実施内容

平成28年4月より配置。
 地域版いきいき健康教室を通して地域住民との関わりを持ち、事業の推進を図った。
 (通いの場の創設支援)
 また、第1層協議体への参加と委員と連携をおこない、生活支援・介護予防体制整備の推進を図った。
 県が主催する生活支援コーディネーター研修会や県SC連絡会への参加。
 住民主体の通いの場へ出向き、町内18地区の公民館において支援をおこなった。
 (感染症予防対策・指導員や介護予防推進員との調整・サポーター事業の普及啓発)

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 吉野ヶ里町

(イ)協議体の設置	
実施内容	
平成29年4月に第1層協議体を設置。令和4年度は、下記の内容にて5回開催した。	
(開催日)	(内容)
第1回 令和4年 6月 1日	各委員より近況の活動報告や地域の情報共有/生活おたすけボランティアについて 地域の通いの場・移動スーパーの現状報告
第2回 令和4年 7月27日	生活おたすけボランティアについて 町の介護予防の取り組みについて
第3回 令和4年 9月27日	生活おたすけボランティアについて 町に必要な地域資源についての意見交換
第4回 令和4年11月30日	生活おたすけボランティアについて 町の移動支援への取り組み
第5回 令和5年 3月 23日	生活おたすけボランティアについて 移動支援の取り組みについて
(ウ)その他(生活支援ボランティア養成講座)	
実施内容	
生活支援等サービスに係るボランティアなどの担い手を養成するための講座を開催。	
※吉野ヶ里町社会福祉協議会に委託 令和4年9月29日～令和5年1月19日 全6回開催 延べ受講者数:73人	
(3)認知症総合支援事業(令和4年度)	
①認知症初期集中支援推進事業	
実施内容	
認知症初期集中支援チームを平成30年2月から設置。 チーム員:認知症サポート医(肥前精神医療センター院長に委託) 保健師及び看護師(認知症地域支援推進員2名) 毎月実施をしているもの忘れ相談室終了後に情報共有のための支援チーム連絡会を実施。 相談事例:2人、チーム該当事例数:2人、初回訪問実施件数:2件、チーム員会議:4回開催、支援修了者:1人、訪問延べ回数:25	
②認知症地域支援・ケア向上事業	
実施内容	
1)認知症地域支援推進事業 平成28年4月から認知症地域支援推進員を配置。看護師2名配置。(チームオレンジコーディネーターを兼務) 認知症予防・普及に関する出前講座(サポーター養成講座)、もの忘れ相談室の運営、相談後のフォロー、認知症ケア向上教室の企画運営、認知症カフェ等への支援及び連絡会を実施。	
2)認知症カフェ事業 社会福祉協議会:ふれあい広場内認知症カフェ、久栄会:いしなりカフェ、(株)ゆうあい:カフェゆうあい それぞれで、運営ボランティア等の協力を得ながら、事業を展開。	
3)認知症講演会 ※コロナ禍のため中止	
3)もの忘れ相談室 肥前精神医療センターの院長を相談医として依頼し、毎月1回を予定していたが、今年度は相談者が少なく、計8回開催。相談者12人。 認知症の早期発見、早期対応、早期受診、進行の予防を図り、適切なケアに結びつける。	
4)認知症地域ケア向上事業	
①認知機能相談会 4回開催 相談者数38人 平成30年から肥前精神医療センターと共同で実施している吉野ヶ里脳MRI健診受診者のうち、認知機能低下が疑われるものを対象に相談会を実施。	
②いきいきおれんじクラブ(認知機能向上教室) 開催回数:24回 参加者数:実31人、延べ282人 認知症やもの忘れに不安のある方を対象に、認知症専門スタッフ等による認知機能の維持・改善のための教室(12回/1クール×2クール)を開催。専門スタッフに加え、認知症サポーターをボランティアとして活用し、認知症の早期発見・進行予防を図るとともに、適切なケアに結び付ける。◎認知症サポーター参加者数:実2人、延べ23人	
5)認知症当事者発信支援事業 肥前精神医療センター、神崎市と協働で認知症フォーラムをハイブリッド形式で開催。 期日:令和5年1月28日(土) 場所:吉野ヶ里町文化体育館(吉野ヶ里町) 参加者数:来場88人 WEB21人 計109人	

地域支援事業の実施状況および委託費精算書(明細表) 吉野ヶ里町

③認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業	
実施内容	
令和3年4月からオレンジコーディネーターを配置。看護師2名配置。(認知症地域支援推進員を兼務) ステップアップ講座参加者や地域の事業所、認知症の人の家族や本人を交え、定期的に認知症施策定例会を開催し、地域における認知症の人のための支援体制について協議をし、チームオレンジを令和4年11月1日に結成した。	
(4)地域ケア会議推進事業(令和4年度)	
実施内容	地域ケア推進 会議の開催数
<p>1)地域ケア会議の開催 個別課題のケア会議及び多職種連携会議を計8回開催。9回予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止とした。8回中4回は佐賀中部広域連合のアドバイザー派遣事業を活用し、理学療法士・作業療法士・栄養士・歯科衛生士・薬剤師の5職種から助言を頂き、検討を行った。多職種連携会議は研修会を2回、説明会を2回実施した。研修会は、町内の介護保険サービス事業所の職員を対象に、①佐賀県社会福祉士会に講師を依頼し、高齢者虐待について、②吉野ヶ里町包括支援センターの認知症地域支援推進員2名より、町の認知症施策の説明や認知症について理解を深める内容とした。説明会は①町内の居宅介護支援事業所に対し、令和4年度の包括職員の紹介やケア会議の年間計画や提出資料、生活課題整理の手引きについての説明②委託先居宅介護支援事業所に対し、次年度の契約や実績報告について、町の福祉サービスの紹介、説明等を行った。</p>	1回
<p>2)地域ネットワーク構築(吉野ヶ里ふれあいネットワーク推進協議会) ・開催日 令和5年2月1日(水) 出席者数 委員14人 地域ケア会議(個別事例検討レベル)等で抽出した課題等を、各構成機関と協議検討し高齢者のあらゆる問題に対しての予防・早期発見・早期対応を実現を目指すため、ふれあいネットワーク推進協議会(地域ケア推進会議を兼ねる)を開催した。 地域課題(移動に関する内容、訪問介護事業所に関して)について報告、検討後、各委員から各機関の取り組み状況や意見を頂き協議を行った。</p>	

令和4年度構成市町主催の地域ケア推進会議の実施状況

1. 開催回数

市町名	開催回数	会議名(他の会議を兼ねている場合も含む)
佐賀市	1回(書面)	佐賀市地域包括支援センター運営委員会
多久市	0回	令和3年度までは年度末(3月下旬)に運営推進委員会を開催し、課題や次年度の取り組みについて、年度途中での協議、審議となっていたが、令和4年度からは、より適切に協議、審議するため、年度初めに前年度の課題、本年度の取り組みを協議、審議する。(令和4年度開催なしで委員の同意あり)
小城市	2回	小城市地域包括支援センター運営委員会
神崎市	2回(うち1回は書面)	神崎市地域ケア推進会議
吉野ヶ里町	1回	ふれあいネットワーク推進協議会

2. 課題と方向性

(1) 認知症施策の推進

市町名	おたっしゅ本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	<p>①地域の認知症に対する理解が不足している。</p> <p>②支援機関との連携による認知症の早期発見の取り組みが必要。</p> <p>③親族が近くにいない場合の成年後見制度等の権利擁護に関する手続きが困難。</p> <p>④成年後見制度の生活困窮者に対する支援が不十分。</p>	なし	<p>①②子どもから大人まで様々な年代の認知症サポーターを更に養成し、地域で活動できる人を把握する。</p> <p>①②認知症ステップアップ講座を開催し、地域で活躍できるボランティアを育成する。</p> <p>①市報さが等に認知症に関する記事を掲載し、広く市民へ周知を図る。</p> <p>③④成年後見制度の中核機関として設置した佐賀市成年後見センターを中心に権利擁護の充実に向けた取り組みを行う。</p>
佐賀市	・認知症高齢者への初動の対応が遅れ、重症化につながっている。	なし	・医療機関と連携を図り、認知症と診断されてからスムーズに医療や介護につなげられる体制を整備する。
小城市	・住民の認知症について正しい理解不足。	・認知症サポーター養成講座を多くの方に受けて頂き、ステップアップ講座を受けられるよう具体的にタイムスケジュールをもってオレンジチーム作りをして頂きたい。	・ステップアップ講座を開催し、認知症の方への接し方を広め、地域で認知症の方を支えていこうにしたい。

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
神崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の見守り体制。地域で認知症高齢者を支えていくためには、どう対応すればよいか。 ・かかりつけ医に本人の状態の変化や周辺症状を伝えることが難しい。 ・地域の人に、ケアマネジャーの役割が十分に啓発できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表に出て会話をしたり、活動したり、認知症を遅らせる方法に取り組んでいきたい。 ・認知症や高齢者介護についてほとんどわからない。民生委員は交代があるのでの研修をお願いしたい。声掛け訓練もなくてはいけない。 ・薬により、口渇などの症状が出ることもある。薬剤性の認知症の方もおられるので、「もしかしたら？」という思いを持って対応をしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カナミックを活用する。 ・民生委員会等での認知症や高齢者介護に対する研修会を検討。

(2)生活支援体制の整備

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに買い物へ行ける場所がなく、交通機関を使って買い物に行く事ができない高齢者が多い。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者又は事業対象者を対象とした訪問型サービス B・D サービスを行う地域団体に対して補助を行う。
神崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・近年災害が続いており、災害時における高齢者の支援について検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな災害に対してのシミュレーションはしているか？ ・水害等を想定し、訓練する必要がある。 ・支援を必要とする人やニーズの把握が難しく、対応する場面で把握しづらい。区長や民生委員を含めた支援の在り方を示してほしい。 ・要援護者の方を、本人同意のもとで情報共有のために包括にも教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の包括支援センターの事業持続計画作成に向けて取り組んでいく。 ・有事にも適切な対応を行えるよう、計画をもとに有事をシミュレーションして備えていく。 ・事業持続計画について、福祉的な目線での助言を得ることができるよう、研修会の開催も検討する。
神崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療や福祉の支援が必要な状況であるにもかかわらず、高齢者本人や家族が支援を拒否するため、支援が難航する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろからの支援が必要であるにもかかわらず、支援拒否傾向が強い方たちへどのように支援していくのか、検討していく必要がある。 ・定期的な訪問での話し合いやチームを組んで、一人に任せず継続して援助をしていく。 ・居宅や包括に係る負担が大きい。医療機関、民生委員、区長、健康増進課、市民課など関わりのある関係機関とのスムーズな連携が図れたらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所のケアマネジャーを対象に、セルフネグレクトに関する研修会を実施。

市町名	おたっしゅ本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
吉野ヶ里町	・移動に関する内容（デマンドタクシーが、複数箇所の利用が出来ない。指定施設が少ない。時間がはっきりせず、使い勝手が悪い）	なし	・これまでも地域課題として上がっていた内容であり、吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会で関係機関との協議を重ねてきた。令和3年10月から上峰町の一部も利用可能となった。令和5年10月からは、WEB予約が可能となり、町内であれば場所の指定がなくなる。

(3)在宅医療・介護連携の推進

市町名	おたっしゅ本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	・認知症高齢者への初動の対応が遅れ、重症化につながっている。	なし	・医療機関と連携を図り、認知症と診断されてからスムーズに医療や介護につなげられる体制を整備する。
神崎市	・ACPの普及について（アドバンス・ケア・プランニング「人生会議」）	・本人が望んでいない医療が行われている可能性があるため、意思表示をしてもらいたい。 ・ACPはプロセスで難しく考えるものではない。どう生きるかの話し合いの積み重ねがACPになる。	・市では神崎市郡在宅医療・介護連携支援センターの発行されたエンディングノート「わたしのライフプランノート」を配布しているが、今後、市でもエンディングノートの活用を考えたい。
神崎市	・口腔衛生の意識について、定期的にかかりつけの歯科でメンテナンスしている方、まったく歯科受診をしていない方と二分化している。アセスメントの際に口腔内のアセスメントの取り方が難しい。	・患者がよくわかっていない場合もある。患者本人の温度差が強く、治療が終わればそれでいい方も多い。重要性は人それぞれ。	・カナミックの活用。 ・教室等での指導を引き続き行う。

(4)要支援者の自立支援に資する介護の推進

市町名	おたっしゅ本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
佐賀市	・栄養管理が不十分のため、筋力低下や疾病の重症化につながっている。	なし	・低栄養や生活習慣病等の重症化及び介護の重度化防止を目的として、管理栄養士を市民の自宅等へ派遣

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
(佐賀市続き)			して栄養指導を行う。
佐賀市	・8050 問題への対応が不十分(無職、精神疾患のある子どもへの働きかけ)。	なし	・福祉まるごと相談窓口をはじめとする関係機関との連携を深める。
佐賀市	①歩行器を使用しても歩道が歩きにくい。 ②学生の自転車走行時のマナー(並走・スマートフォン操作しながらの運転等)について注意啓発が必要。	なし	①道路管理課と協議していく。 ②生活安全課と協議していく。
小城市	・バス停までに移動手段がないなどの交通の問題、集いの場が少ない。	・運動をボランティアでしている団体もあるため、そういう団体を活用し集まるきっかけづくりとなれるようにして頂きたい。	・今後、検討予定
小城市	・コロナ禍での行動制限により虐待件数が増える可能性がある。 (統計的には横ばい)	・住民が集い場に参加していただくことで、運動指導士等が体の変化などに気づく場合もあるのではないかと。	・虐待予防・発見の視点で関係者が従事できるように研修会を開催し、学ぶ機会を作る、相談に応じて必要な支援をしていく。
神崎市	・配食サービス業者が対応できない地域がある。また、糖尿病や腎臓病等の治療食対応が難しい。 ・食事に偏りがあり、栄養を考慮した食事ができていない。	・食物アレルギーは命にも直結する場合がありますので、専門業者の活用は有効と考える。 ・配食サービスについては、高血圧や糖尿病などの疾患があっても、食を確保するうえで必要な方もいるため、制限を緩和してもらいたい。 ・味を薄めにするなどの工夫をしてもらいたい。 ・生活習慣病や病気になっても適切な食事がとれるように事業の見直しもしてもらいたい。 ・配食サービスの拡充も大切だが、本人や家族の意識向上も必要。 ・男性も自分が食べる分は自分で作ることができるように、高齢男性向けの料理教室に取り組んではどうか。 第2回での追加意見: ・栄養士会から病態への支援ができれば。 (次ページへ続く)	・市主催の介護予防教室や100歳体操などの地区の集まりでの、栄養指導を実施しているが、今後士配食サービスの治療食対応について検討をすすめる。 ・かかりつけの医師との連携等、個々のケースに対応をしていく。 ・男女共同参画の中で料理教室が開催されており、年配の方も多く参加されているため、担当課との連携も必要と考える。

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
(神崎市続き)		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設との連携ができた。 ・男性の料理教室は周知が足りないのでは？ ・西九州大学の調理室を使用しても良いのではないか。 	
神崎市	・複合的な課題を持った家庭からの相談が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関連の緊急小口資金の貸付件数が 500 件近くあり、ことから償還にはいる時期になる。免除や先延ばしも出てくると思われる。 ・家計相談も例年より増えている。家計立て直しの提案をしたい。 ・貸し付けを行った方で回復できる方は少ない。個人事業主もコロナ融資の返済が始まっているため、債務のことで悩む方は増えるだろう。 	・引き続き関連機関と連携を図りながら、支援していく。

(5) 介護サービスの基盤整備

市町名	おたっしや本舗地域ケア会議から抽出された課題	課題に対する意見	課題解決に向けて取り組む方向性
小城市	<ul style="list-style-type: none"> ・小城市の高齢者福祉サービスが住民にとっても市内の支援者にとってもサービスの内容や対象者が分かりづらい。 ・住民への情報発信の不足。 	なし	・小城市高齢者福祉サービスの冊子の作成、ホームページへの掲載。
吉野ヶ里町	・夜間対応型の訪問介護事業所が少ない	なし	・夜間対応型の訪問介護事業所は、状況的に開設は難しいと判断されるので、その都度、対象者のニーズに応じ、訪問看護で夜間対応を行ったり、小規模多機能やショートステイで調整していく。